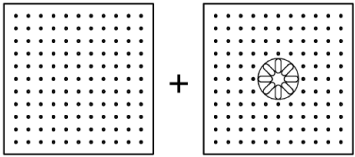


レインシャワーアクア据付説明書
(お客様にお渡しください)

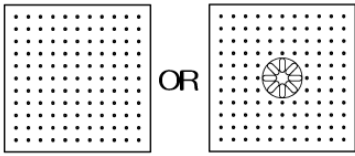
- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともにお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 据付完了後は、この説明書をお客様にお渡しください。

目次	頁
同梱品一覧	2
安全上の注意	4
使用条件	5
据付前の注意	5
設置寸法の確認	6
排水能力について	7
ご使用時の注意	7
必要な工具について	8
配管接続例	9
施工準備<モノ・デュオ 並列設置>	15
施工手順<モノ・デュオ単品設置>	16
施工手順<埋込本体部(小)>	23
施工手順<カスケード①左設置>	29
施工手順<カスケード②右設置>	31
施工手順<ミスト/ピュアスプレー>	33
ご使用方法	37
ご使用上の注意	
お手入れ方法	38
冬期凍結の恐れがある場合	
定期的な点検	39
日常のお手入れ	
故障かな？と思ったら (修理を依頼される前に)	
定期的な部品交換	40
アフターサービスについて	
新しく購入して交換してください	

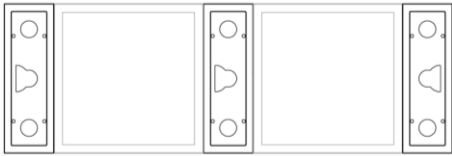
【モノ・デュオ 並列設置】



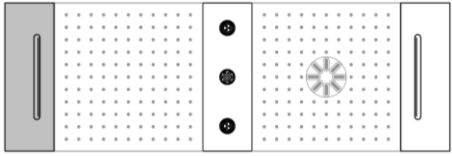
【モノ・デュオ単品設置】



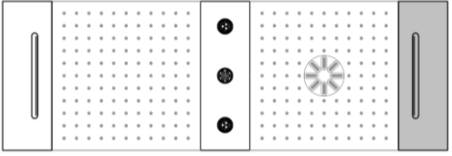
【埋込本体部(小)の設置】



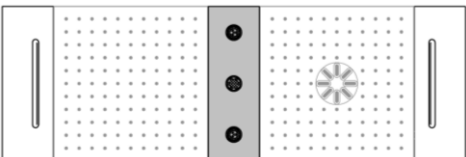
【カスケード①左設置】



【カスケード②右設置】



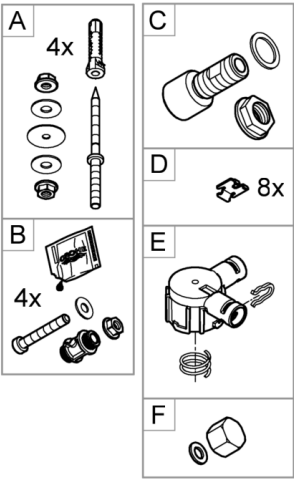
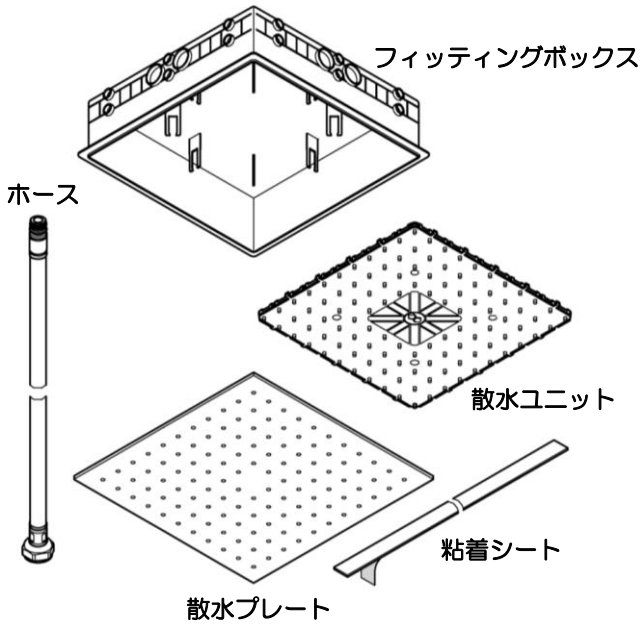
【ミスト/ピュアスプレーの設置】



同梱品一覧

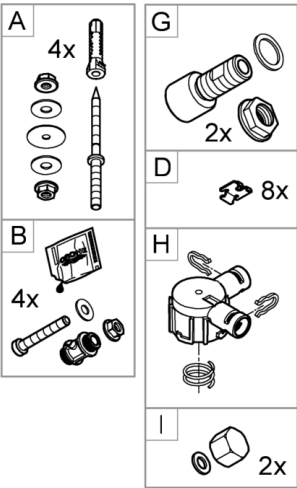
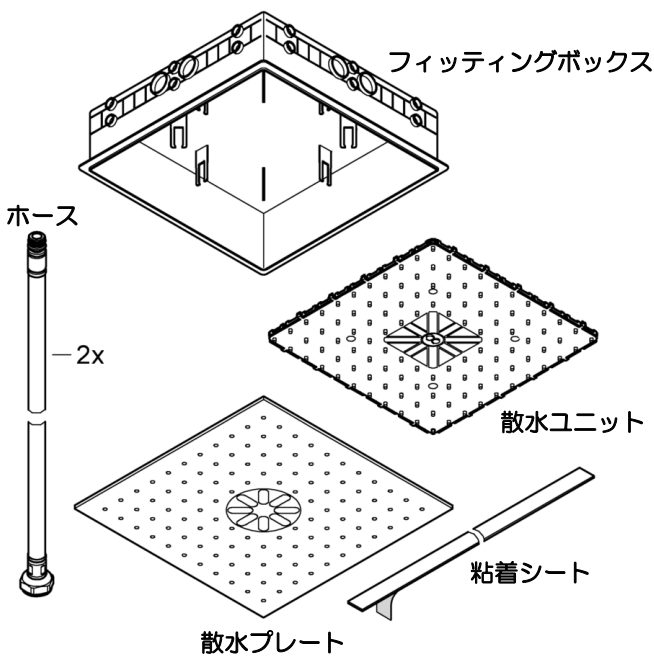
※欠品、キズ等が無いかわ据付前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ据付前にご連絡をお願いします。

【2673100J モノ】



A	天井取付セット
B	連結ツールセット
C	インサートセット
D	スライダー
E	ウォーターガイド
F	プラグ栓

【2673300J デュオ】

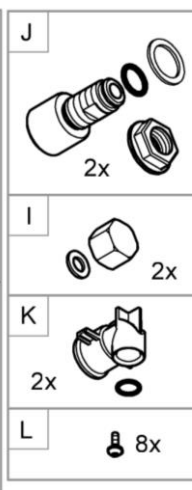
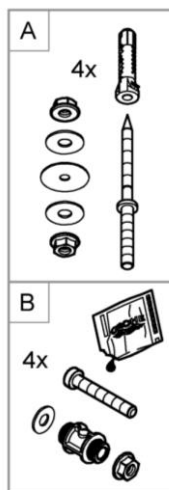
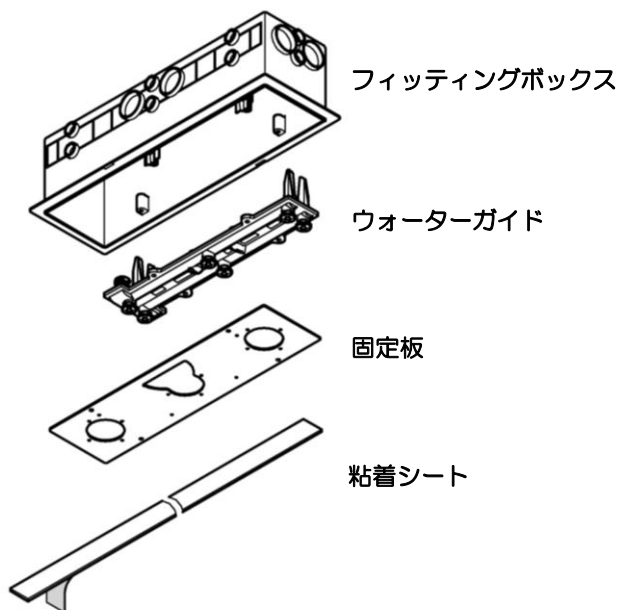


A	天井取付セット
B	連結ツールセット
G	インサートセット
D	スライダー
H	ウォーターガイド
I	プラグ栓

同梱品一覧

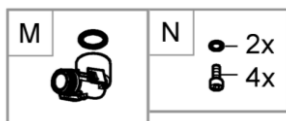
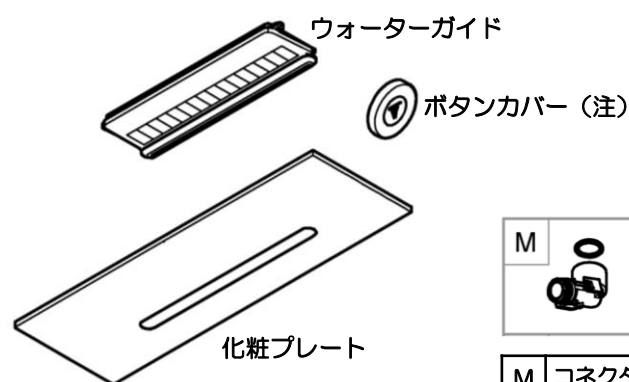
※欠品、キズ等が無いが据付前に必ず確認してください。万一欠品、キズ等があった場合はご購入先へ据付前にご連絡をお願いします。

【2673900J 埋込本体部(小)】



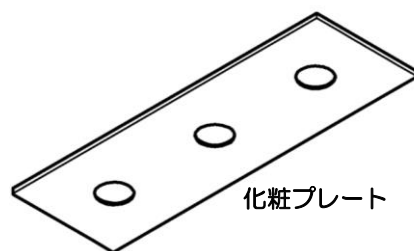
A	天井取付セット
B	連結ツールセット
J	インサートセット
I	プラグ栓
K	コネクターセット
L	ウォーターガイド 固定用ねじセット

【2673400J カスケード】

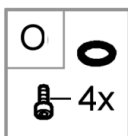
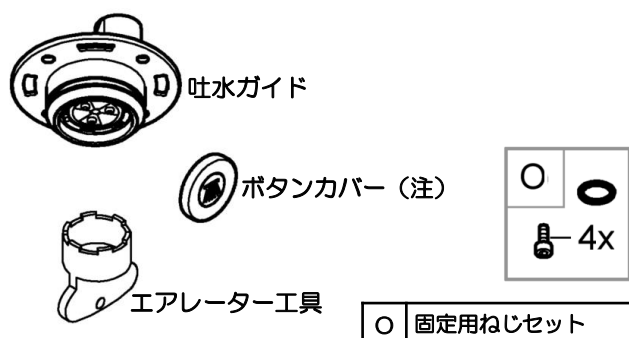


M	コネクターセット
N	固定用ねじセット

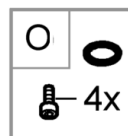
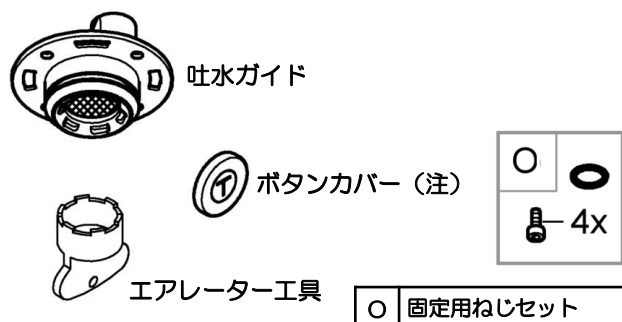
【2678600J 3スプレーカバー】



【2673500J ミストスプレー】



【2673700J ピュアスプレー】



(注) スマートコントロール等、組み合わせの水栓金具に使用する部材です。不要な場合は破棄してください。

安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は状況により重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

用語および記号の説明			
 注意	「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」		
	「してはいけません！」(一般的な禁止記号です。)		
	「指示通りにしなさい！」 (一般的な行動指示記号です。)		「分解してはいけません！」

注意: 正しくお使いいただくために

 禁止	ヘッドシャワーに強い力や衝撃を与えないでください。 ※めっきの表面が割れてケガをするおそれがあります。 ※器具の破損や落下、漏水の原因になります。
	熱湯(60℃以上)を通さないでください。 ※高温のヘッドシャワーに触り、ヤケドをする恐れがあります。 ※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。 ※破損、変形、変色することがあります。
	給湯器の給湯温度は組み合わせてご使用の水栓の使用条件をご確認ください。 ※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。
	屋外やサウナでのご使用をしないでください。 ※機能障害・腐食により器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	水道水および飲用可能な井戸水以外は使用しないでください。 ※商品の内部腐食により、漏水の原因になります。 ※飲用可能な井戸水とは、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合する水を言います。 ※水道水・飲用可能な井戸水でも水アカの付着・緑青の発生で回転不良・温度調整不良のおそれがありますので、定期的なメンテナンスが必要です。
	お使いになる前に必ず手で適温かどうか確かめてください。 ※最初は冷たい水が出てくると想定され、徐々に適温、高温になりますので十分に流したあとに天井シャワー、サイドシャワーをご使用ください。
	ご使用の水栓金具の開閉がどの天井シャワー、サイドシャワー、ハンドシャワーなのか確認してからご使用してください。 ※高温の湯が出てやけどをする場合があります。
	高温の湯をお使いの後は、シャワーヘッド内に高温の湯が残らないようしばらく水を流して下さい。 ※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。
 指示	シャワー使用中に給湯機の設定温度を変えないでください。 ※高温の湯が出てやけどをする場合があります。
	凍結が予想される場所でご使用になる場合は、凍結予防を確実に実施してください。 ※器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	据付完了後は、接続部及び、ヘッドシャワーから水漏れのないことを確認してください。 ※漏水部から湯水が噴き出て、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
	吐水からシャワーまたは吐出状態を切替えた場合、吐出温度が変化することがあります。 必ず吐出温度を確認してからご使用ください。 ※高温の湯が出てやけどをする場合があります。
 分解禁止	ヘッドシャワーのお手入れをする際は、足場等を確保してから行ってください。 ※転落等でケガをすることがあります。
	修理技術者以外の方は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。

使用条件

- 使用水压は、流動圧で0.1MPa[1.0kgf/Cm²]～0.64MPa[6.5kgf/Cm²]（静水压）の範囲とします。
給水圧力が0.64MPa[6.5kgf/Cm²]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。
使用圧力の目安は、天井シャワー1箇所とハンドシャワーの組み合わせで0.2MPa以上の水压を確保してください。
また、シャワー機能をひとつ増やす毎に0.05MPaを加算して元圧を高く設定してください。
- 必ずアクアシャワーに適した水栓金具をご用意ください。（操作性を考慮したスマートコントロールをお勧めします）
使用条件を加味して適正な水栓金具を選ばないと適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- 使用場所を加味して適正な位置を選ばないと適正な散水状態が得られないことがあります。
- ヘッドシャワー取付位置の目安は身長より約1000mm上で、サイドの壁からも500mm程度離し、ご使用の方が触れられない位置にすることをお勧めします。
- 水栓金具の設置場所は操作性を考え、正面の壁ではなくサイドの壁をお勧めします。
- 配管接続部を点検出来るように必ず点検口を設けてください。

注意

※本説明書以外の取付方法で、お取り付けされた際の故障・不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

また、商品または商品の取付けに関するご相談は、お買い求めの販売店にご相談ください。

※他の機器との組み合わせ時や建築側の障害物がある場合は、使い勝手を考慮し調整ください。

据付前の注意

- 給水は上水道に接続してください。
※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 給水ホースゆるみ防止の為、給水ホース配管は動かないように確実に固定してください。
- 給水ホースの接続ねじは平行ねじ G1/2 です。テーパねじ（TP1/2、R1/2）には使用しないでください。
また止水には付属のパッキンは必ず使用してください。
- 天井は商品重量に耐えることを確認のうえ動かないように確実に固定し、商品の落下によるケガにご注意ください。
器具が落ちない、グラつかないなどを考慮した天井、壁を選定してください。
- 高所での作業は、足場のしっかりした状態で、転落等が発生しないよう考慮してください。
- 軽量化など樹脂部材を多く使用しておりますので、紛失、変形、割れ等がないようご注意ください。

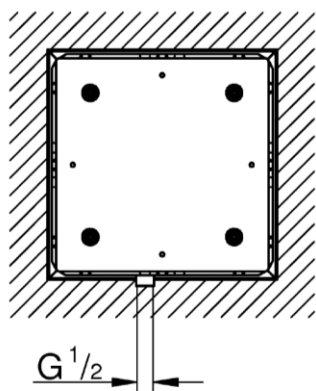
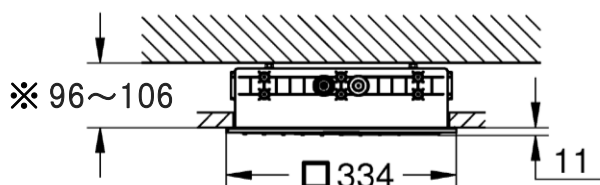
注意

器具が落ちない、グラつかないことを施工前に十分ご検討ください。壁や天井に補強が必要な場合は、現場に合った補強方法をあらかじめご用意ください。

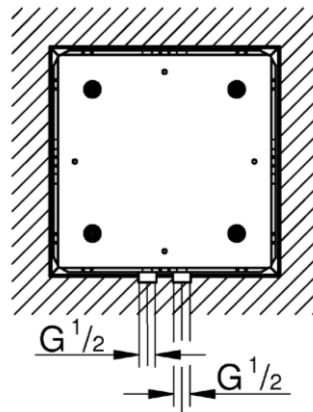
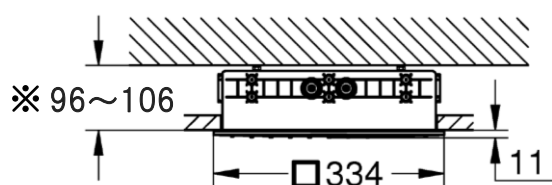
設置寸法の確認

※寸法は、天井仕上げから躯体天井の距離です。この寸法以外では設置できませんのでご注意ください。

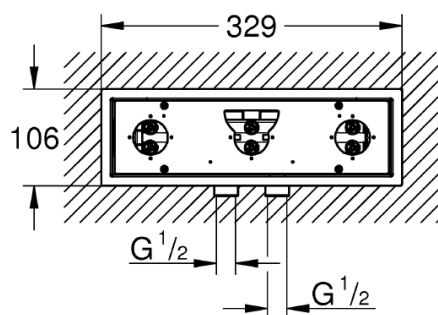
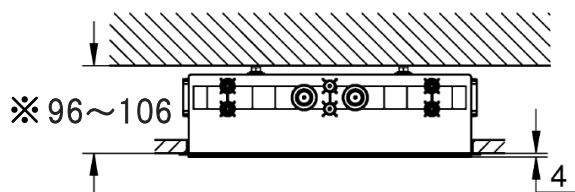
【2673100J モノ】



【2673300J デュオ】



【2673900J 埋込本体部(小)】



注意

- ・本説明書以外の取付方法で施工された際の故障・不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・他の機器との組合わせや建築との取り合いについては設備業者や施工業者と打ち合わせ頂くようお願いいたします。

- 固定には M6 のボルト(4箇所)使用します。

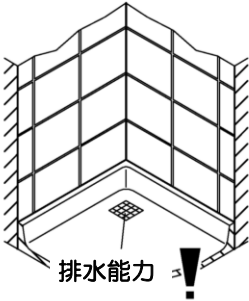
付属部材で対応できない場合は、アンカーボルトなどの市販品を別途ご用意ください。

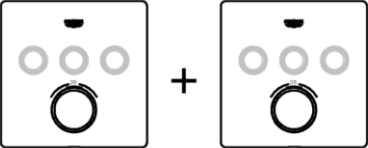
ユニットバスの場合、ユニットバスメーカー様や建築工事会社様にご相談のうえ施工してください。

- 天井仕上面から躯体天井(ボルト取付面)までは 96mm~106mmの隙間が必要です。この寸法以外では設置できませんのでご注意ください。
- 躯体天井は商品重量に耐えることを確認のうえ、ボルトは動かないように確実に固定してください。
- 商品の落下による怪我や事故に十分ご注意ください。

排水能力について

本製品をご使用の際には、下図の排水能力が必要です。
使用圧力、設置するシャワーの数量によって、排水口、排水管の排水能力のご確認をお願いします。
排水能力が使用する水量より小さい場合は、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



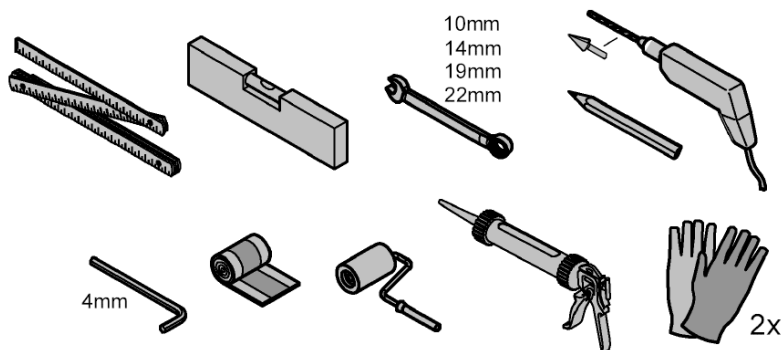
排水能力	
	0.3MPa時 ⇒36 l/m
	0.3MPa時 ⇒72 l/m
	0.3MPa時 ⇒100 l/m

ご使用時の注意

お使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。
最初は冷たい水が出て徐々に適温、高温になりますので、ご使用前に十分吐水したあとにご使用ください。
また、使用するシャワーによっては吐出温度が変化するおそれがありますので、ご注意ください。
使用する水栓金具が、どのシャワーヘッドに接続されているかご確認のうえご使用ください。
※高温の湯が出てやけどするおそれがあります。

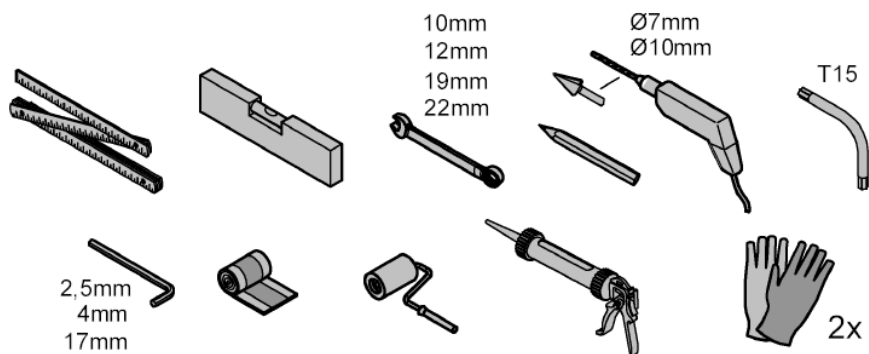
必要な工具について

【2673100J モノ】 【2673300J デュオ】 設置の際の必要工具



- ・メジャー
- ・水平器
- ・スパナ (10mm, 14mm, 19mm, 22mm)
- ・ドリル (φ 7mm, φ 10mm, φ 17mm)
- ・リーマー (φ 7mm, φ 10mm, φ 17mm)
- ・六角棒レンチ (4mm)
- ・シールテープ
- ・コーキング材
- ・作業用手袋

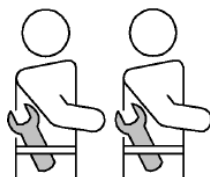
【2673900J 埋込本体部(小)】 設置の際の必要工具



- ・メジャー
- ・水平器
- ・スパナ (10mm, 12mm, 19mm, 22mm)
- ・ドリル (φ 7mm, φ 10mm)
- ・リーマー (φ 7mm, φ 10mm)
- ・トルクスレンチ (T15)
- ・六角棒レンチ (2.5mm, 4mm, 17mm)
- ・シールテープ
- ・コーキング材
- ・作業用手袋

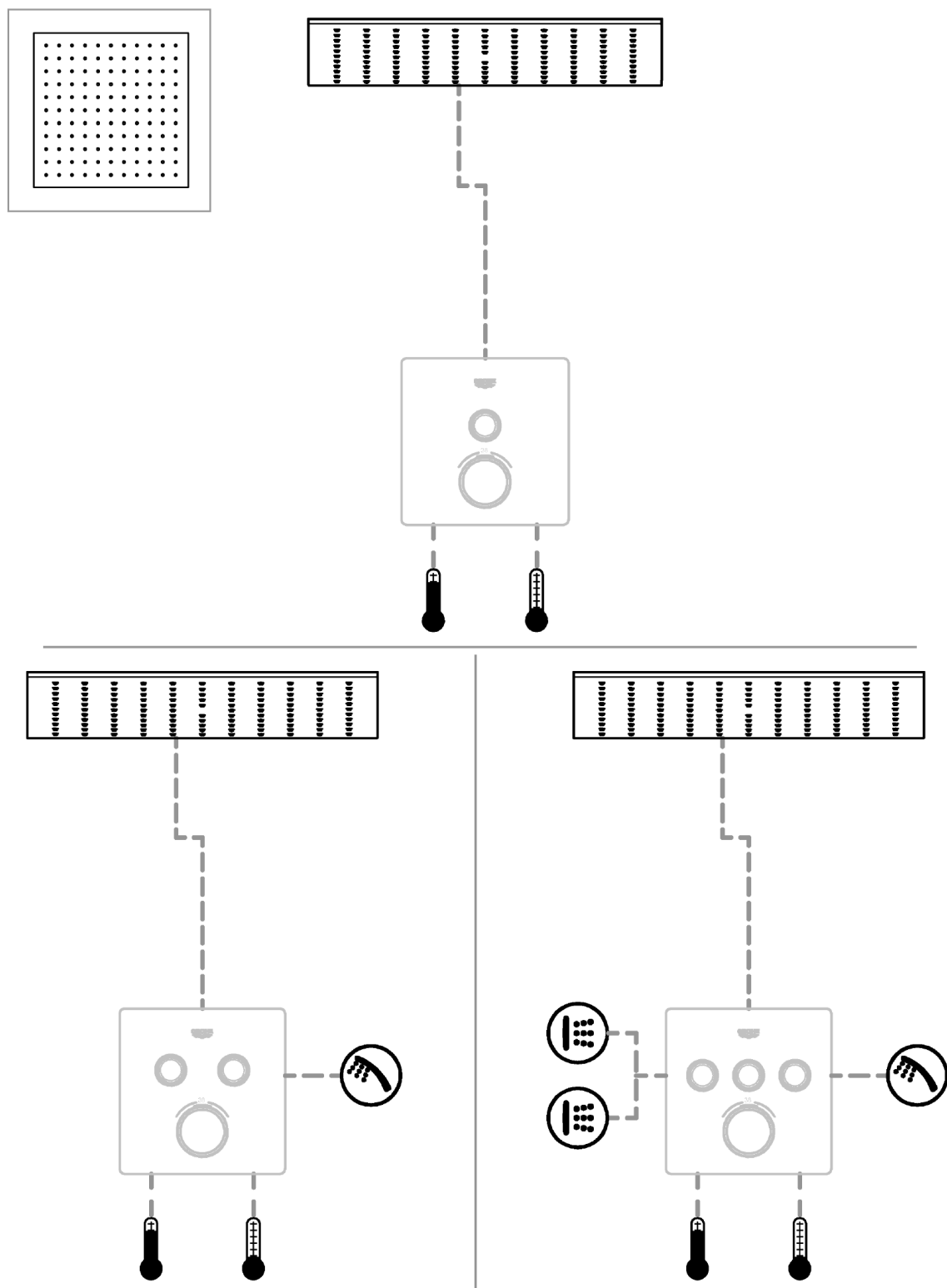
※ その他、現地で必要とする工具をご用意ください。

据付作業は必ず2人以上で行ってください。
作業時の事故防止のため、手袋の着用をおすすめします。



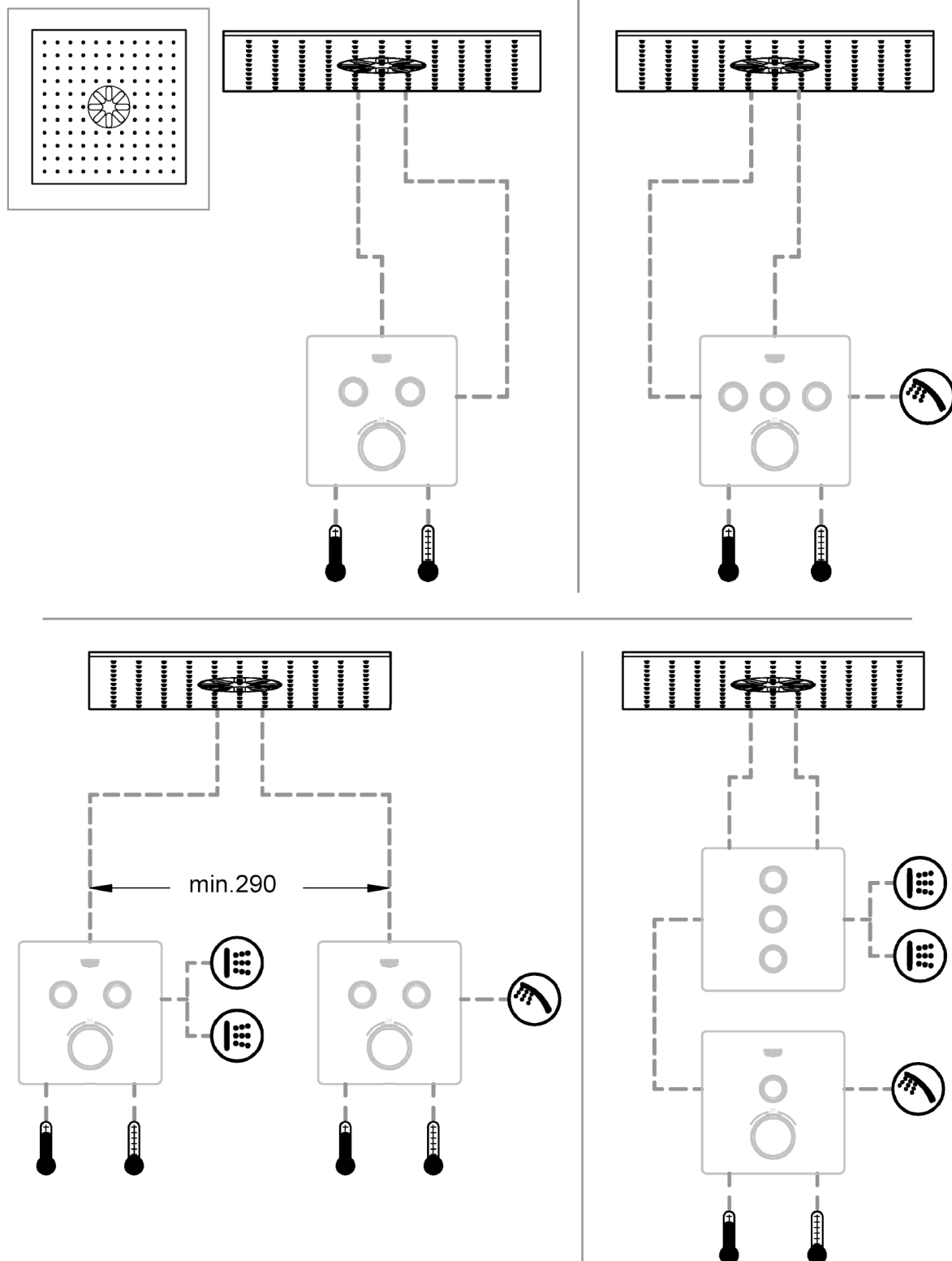
配管接続例 1

レインシャワーアクア モノ



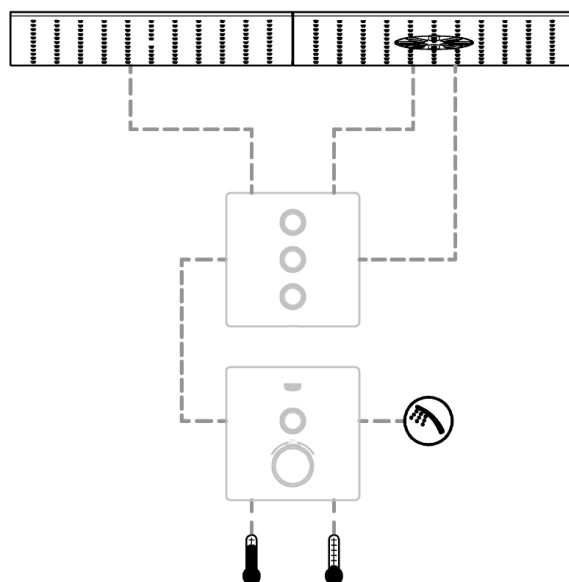
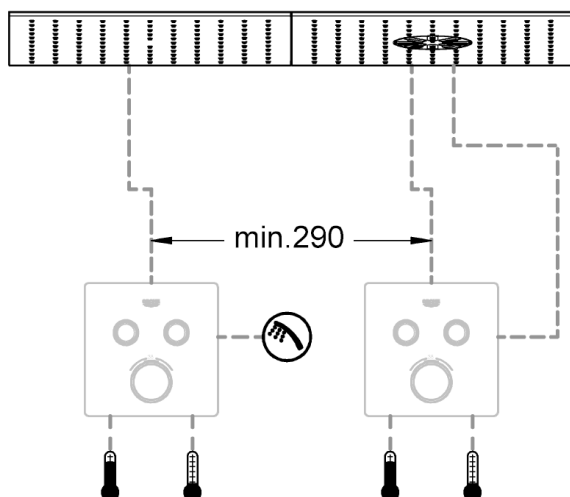
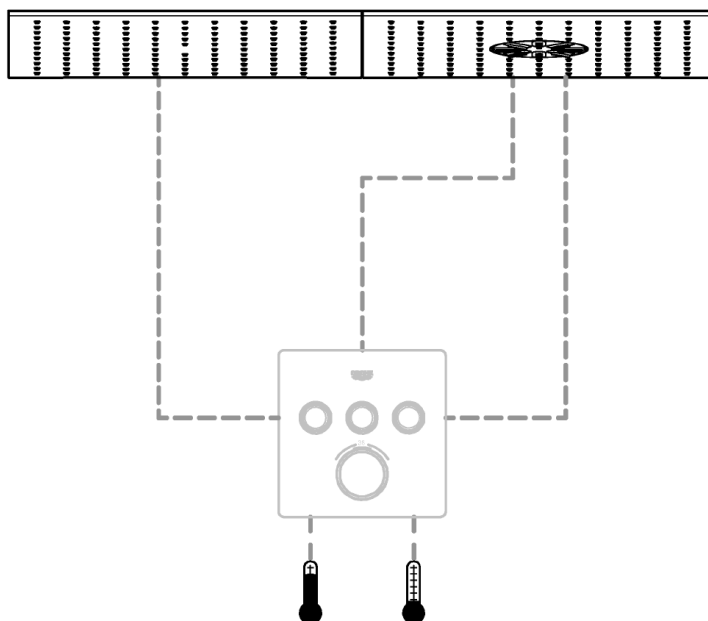
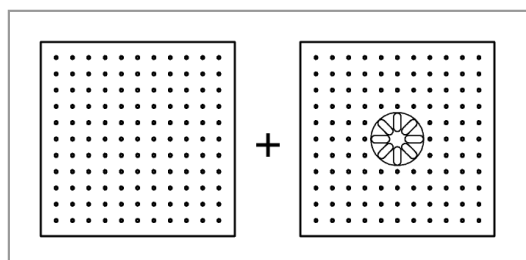
配管接続例 2

レインシャワーアクア デュオ



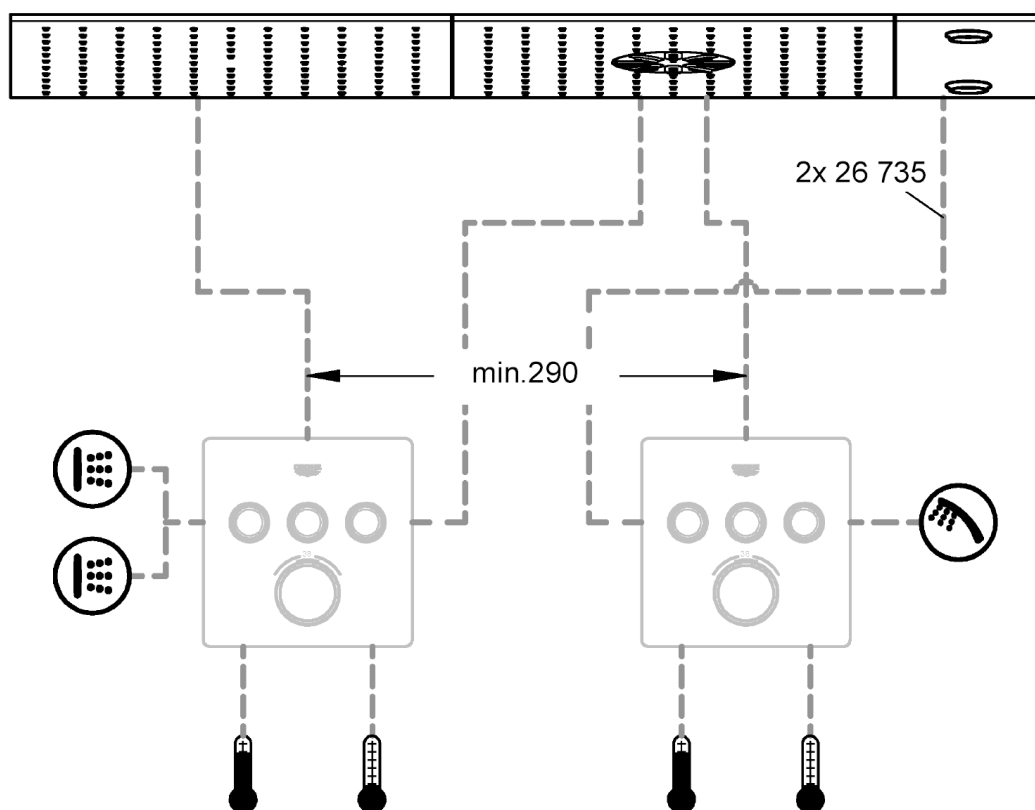
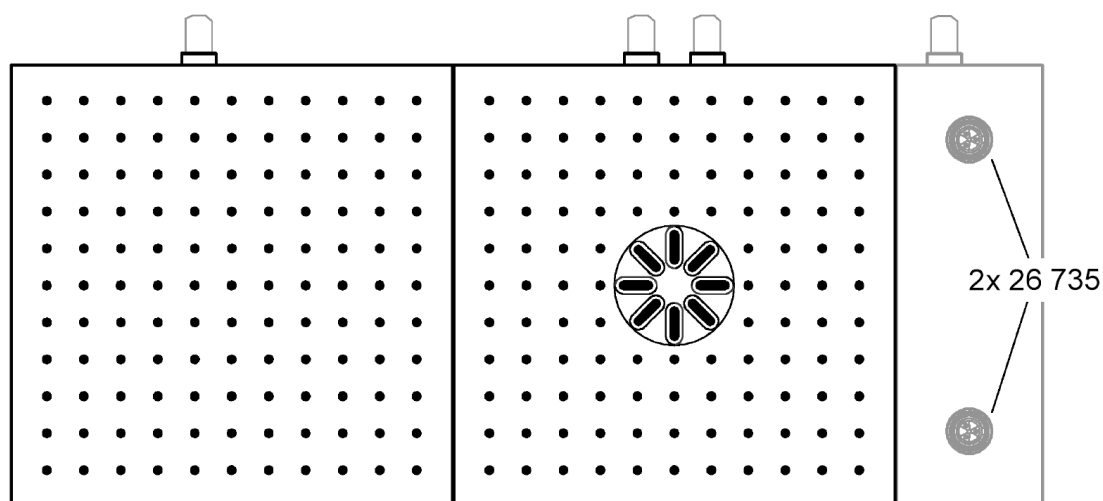
配管接続例 3

レインシャワーアクア モノ + デュオ



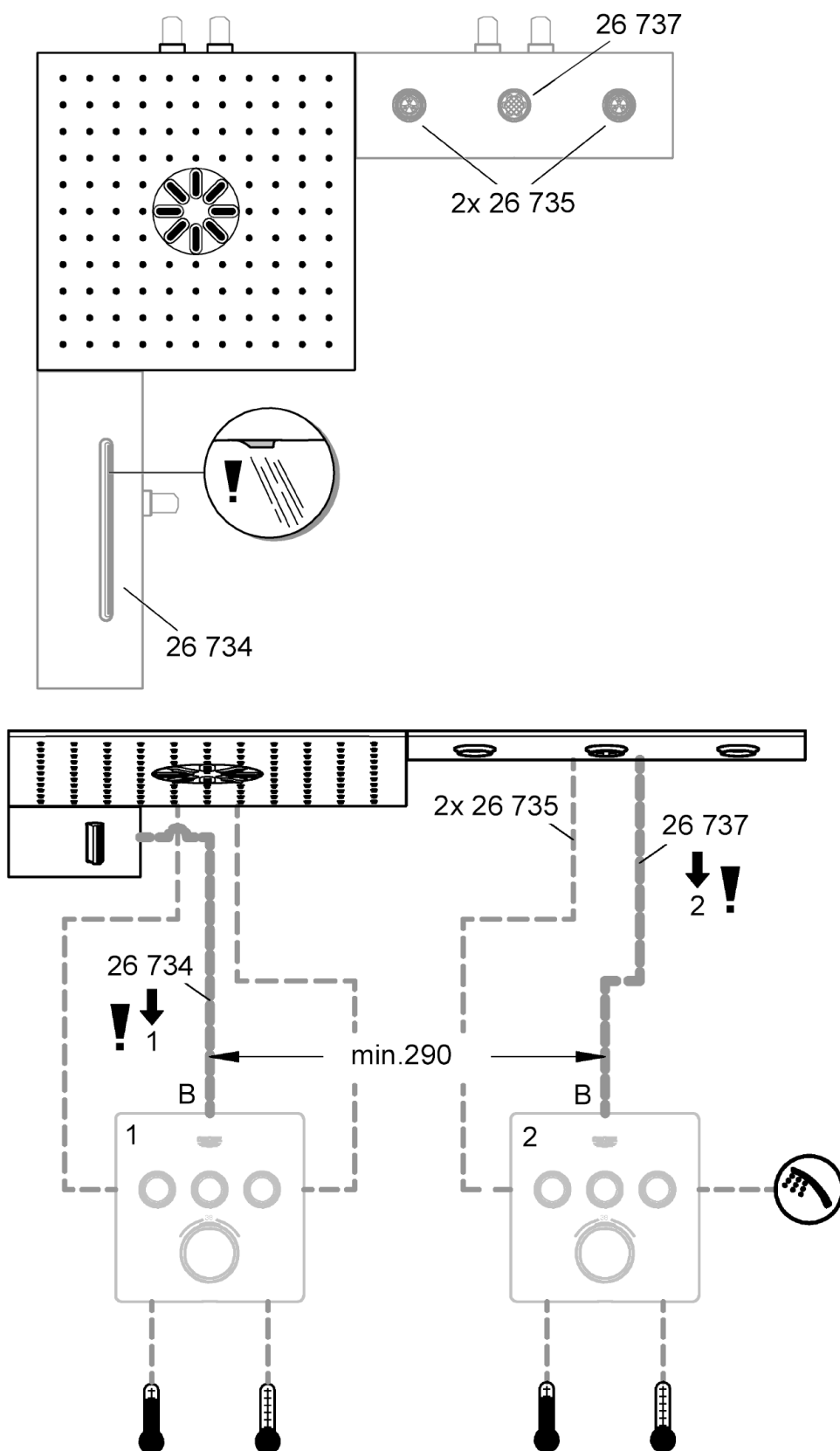
配管接続例 4

レインシャワーアクア モノ + デュオ + ミストスプレー



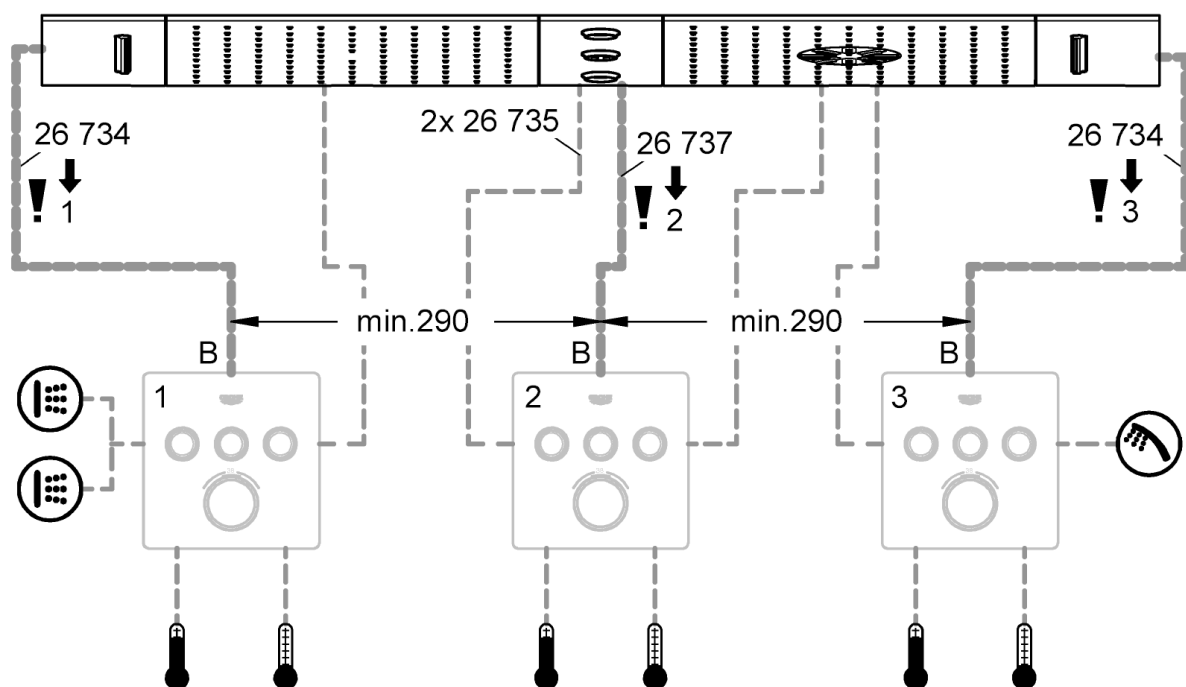
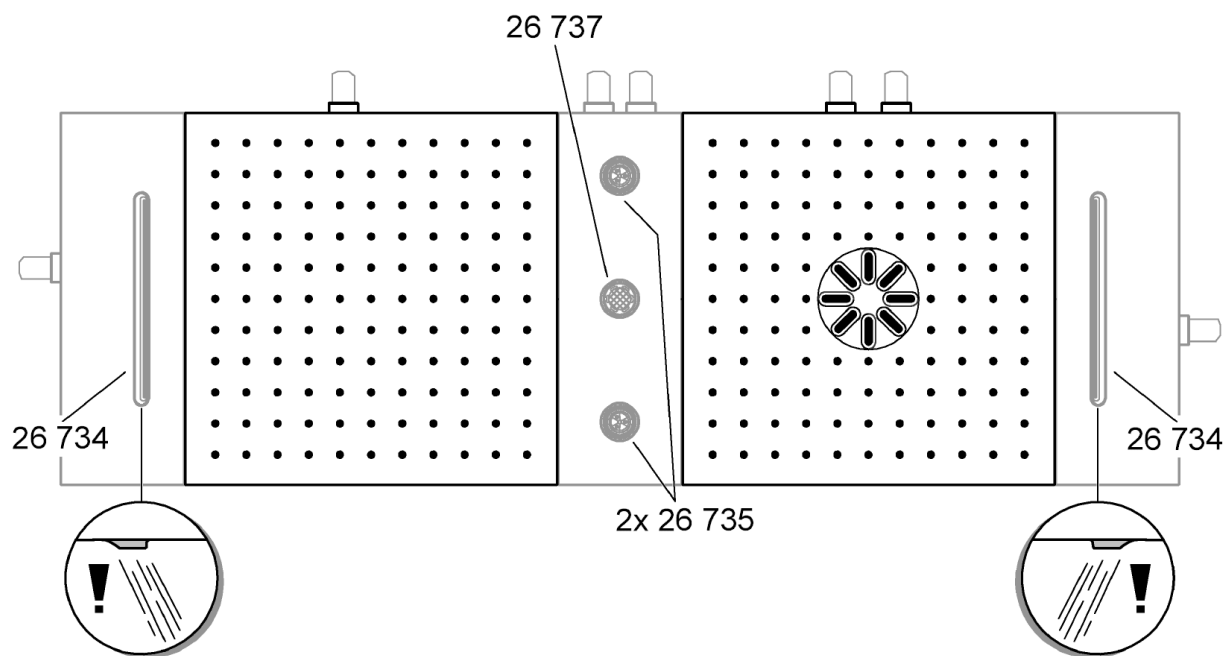
配管接続例 5

レインシャワーアクア デュオ + ミストスプレー + ピュアスプレー

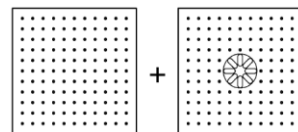


配管接続例 6

レインシャワーアクア モノ + デュオ + ミストスプレー + ピュアスプレー + カスケード



施工準備<モノ・デュオ 並列設置>

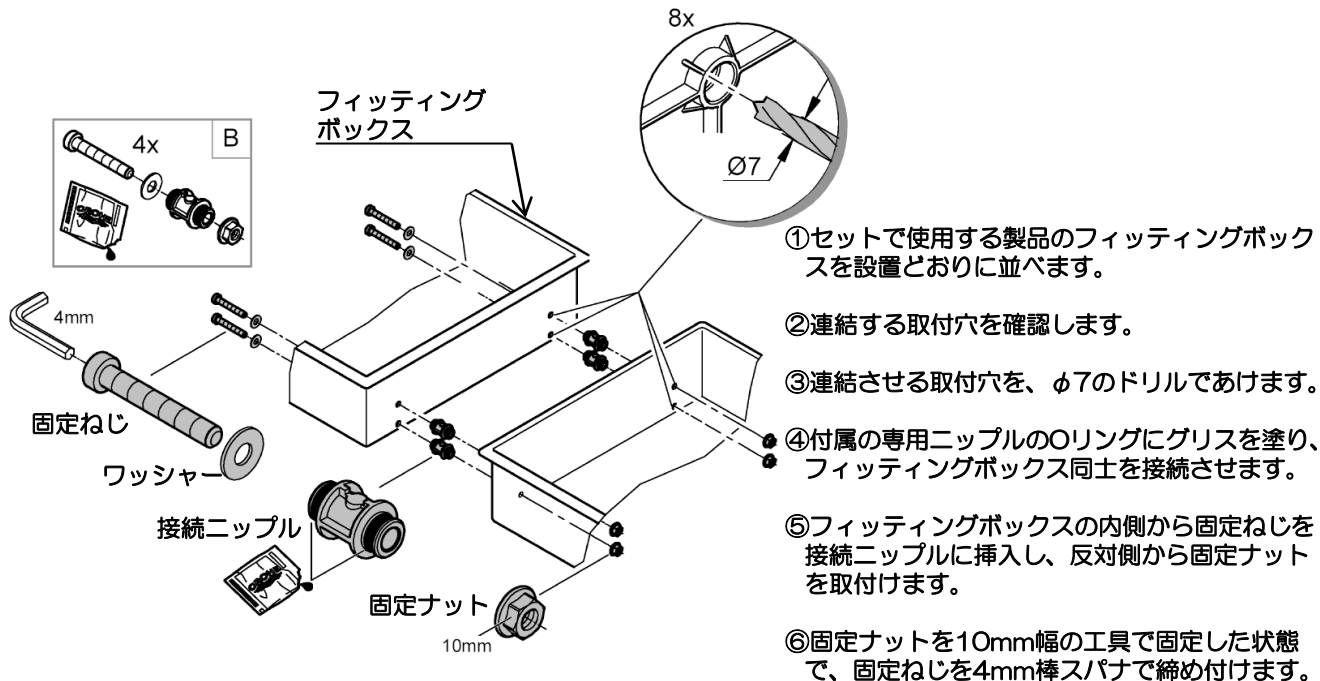


本体の準備①（セットで組合わせて使用する場合の組立て）

2つ以上で組合わせて使用する場合、事前に埋込本体部同士を連結します。

例:モノ+デュオ の連結

1. 埋込本体部のフィッティングボックスを組み立てます。

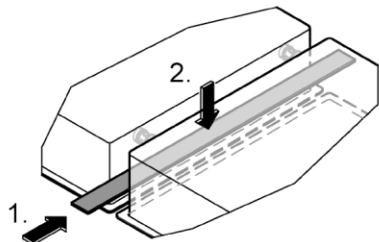


注意

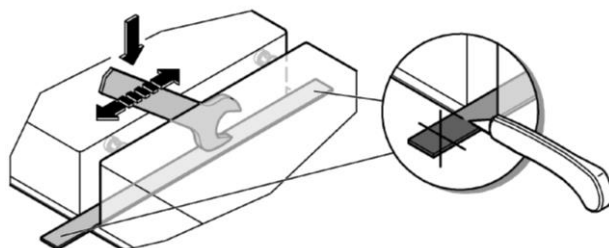
フィッティングボックスは樹脂製です。穴あけの際は破損に十分ご注意ください。
 ・取付けには必ず工具を使用してください。
 ・締め過ぎにご注意ください。

2. 組立てた埋込本体部のボディの隙間に専用の粘着シートで固定する。

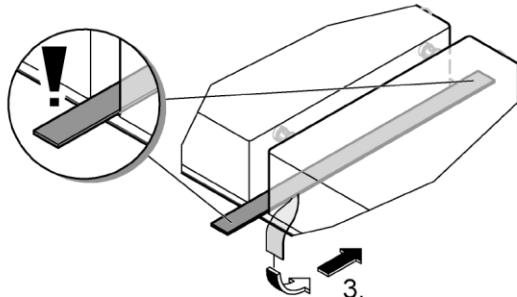
①組立てたボディの裏側から、粘着シートをセットします。



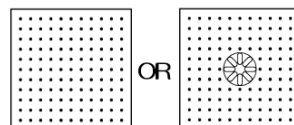
③スパナ等の工具で接着面をしっかりと押さえて密着させ、余剰分の粘着シートをカットします。



②余剰分を残したまま、剥離シートをはがします。

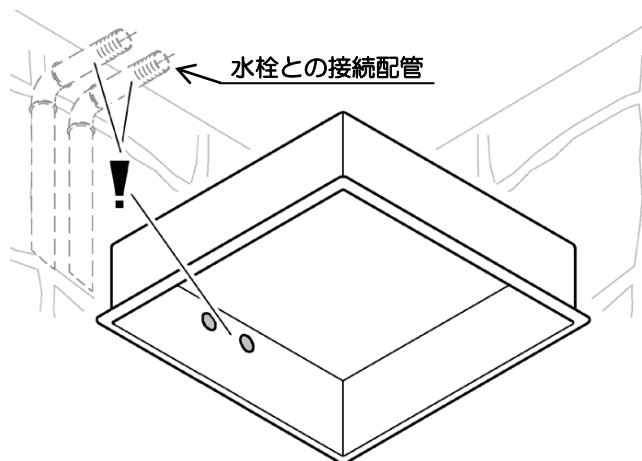


施工手順<モノ・デュオ 単品設置>

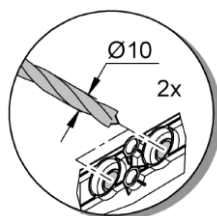


配管取出し口の準備

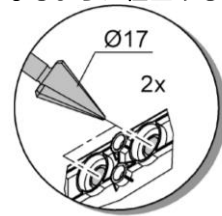
1. フィッティングボックスに配管接続用の穴をあけます。



- ①φ10のドリルで下穴をあける

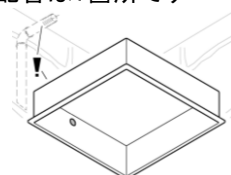
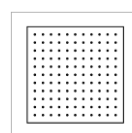


- ②リーマー等で17mm径になるように仕上げる

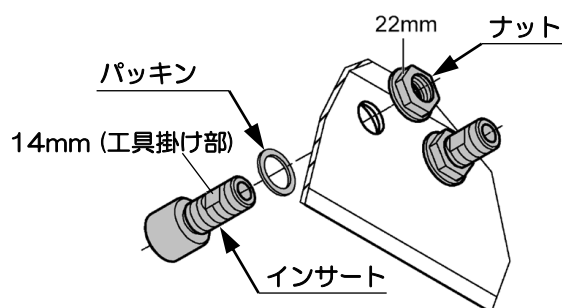


注意

モノの場合は配管は1箇所です

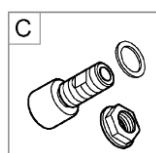
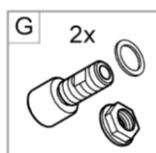


2. 穴をあけた箇所に、インサートを差込み、ナットで固定します。



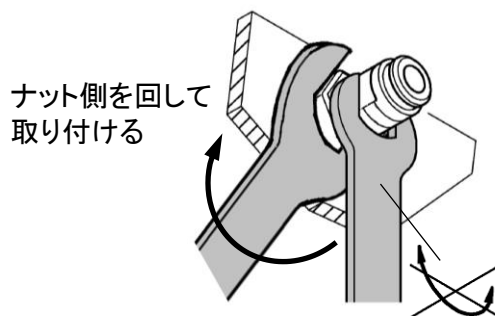
注意

モノの場合はナット・インサートは各1個です。
デュアルの場合はナット・インサートは各2個です。



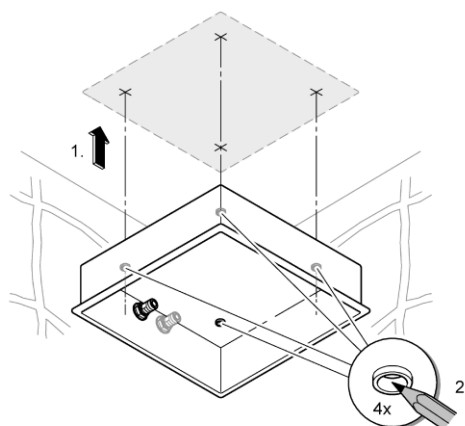
注意

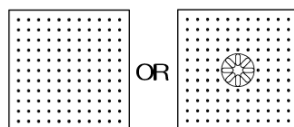
14mm幅のスパナでインサートの工具掛け部を押さえて固定しながら、ナット側をまわして確実に取り付けてください。
※インサートが緩むと漏水の原因になります。



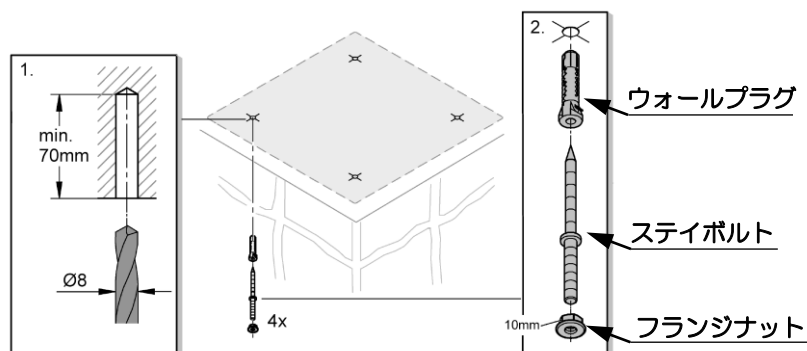
天井取付位置の確認

1. フィッティングボックスを設置位置に押し当て、取付け穴の位置を4箇所ケガきます。





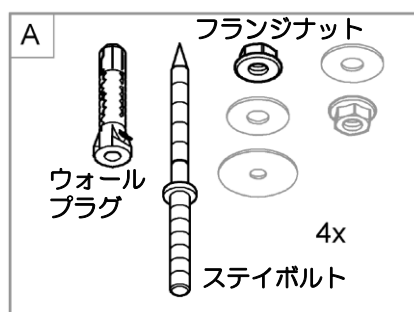
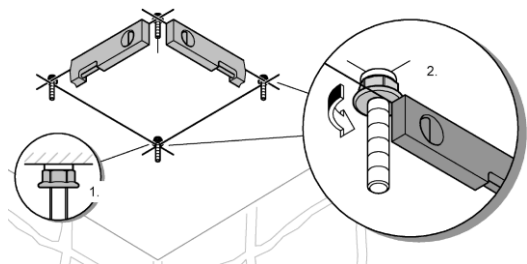
- 天井の取付け位置に下穴(70mm以上)をあけ、ウォールプラグを下穴に打ち、ステイボルトをねじ込んでフランジナットで固定します。



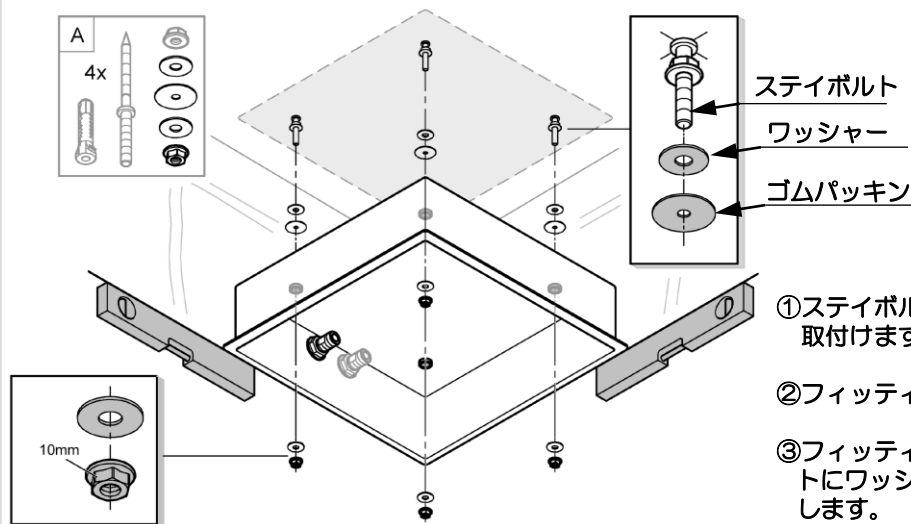
①φ8のドリルで70mm以上の深さの下穴をあけます。

②4箇所の下穴にそれぞれウォールプラグ・ステイボルト・フランジナットを順番に取付け固定します。

- 取付けナットが水平になるよう、調整します。



- フィッティングボックスの水平を保つように注意しながら、天井へ取付けます。



モノ・デュオのフィッティングボックスに取付穴を開けておいてください。
連結も同様に穴を開けてください。

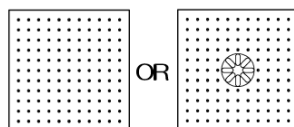
①ステイボルトにワッシャーとゴムパッキンを取付けます。

②フィッティングボックスを天井に設置します。

③フィッティングボックスの内側から、ステイボルトにワッシャーを取付け、フランジナットで固定します。

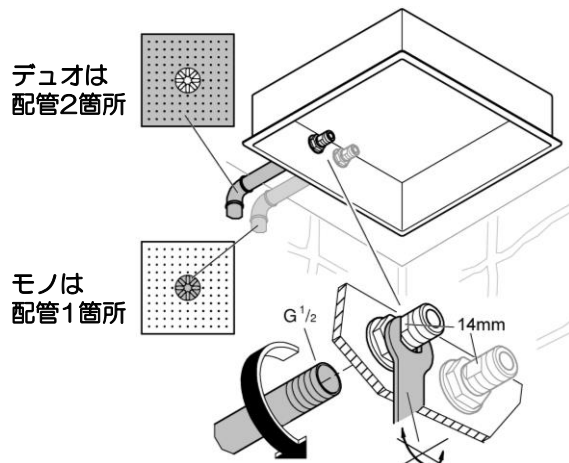
器具が落ちない、グラつかないことを十分ご確認ください。
壁や天井に補強が必要な場合は、現場に合った補強方法を別途ご用意ください。

施工手順＜モノ・デュオ 単品設置＞



配管接続

1. 配管ねじ部にシールテープを巻き、配管
取出し口に、配管を接続します。

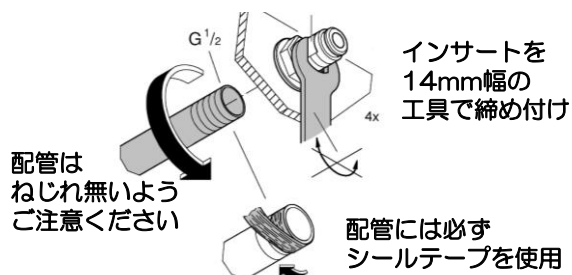


注意

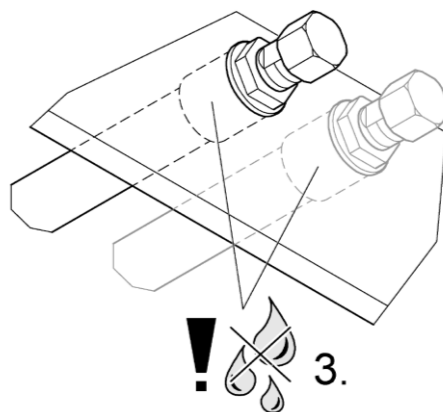
・配管取出し口のねじ部には必ずシールテープを使用して
ください。
※シールテープを使用しないと漏水の原因になります。

・配管接続時には、インサートを14mm幅の工具でしっかり
と締付けてください。インサートがゆるみしたらナットで
再固定してください。

※インサートのゆるみは漏水の原因になります。



2. 通水し、接続部の水漏れがどうか確認します。
天井の仕上げ後に散水部を組み立てる場合は、
プラグ栓で閉栓してください



注意

万が一漏水が確認された場合はシールテープを
巻きなおし、再度締付を行ってください。

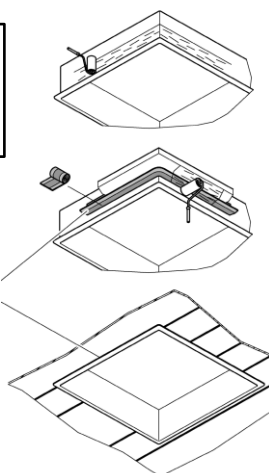
コーキング

本体埋込部にコーキング等、必要な防水処理をします。

注意

防水テープや防水シール材な
ど、現場で必要な防水処理を
選定してください。

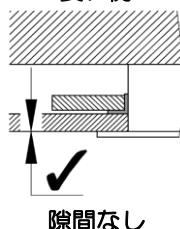
防水処理を施したあと、
天井の仕上げを
行ってください。



注意

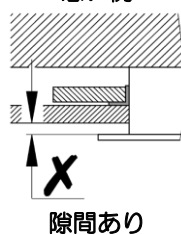
天井の仕上げ面とフィッティングボックスの間に
隙間が無いように施工してください

良い例



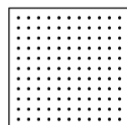
隙間なし

悪い例

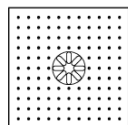


隙間あり

施工手順<モノ・デュオ 単品設置>

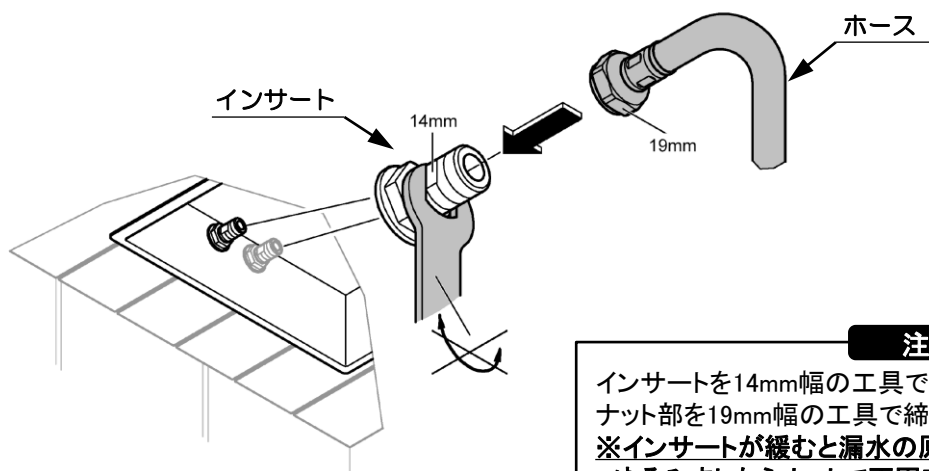


OR



本体とホース接続

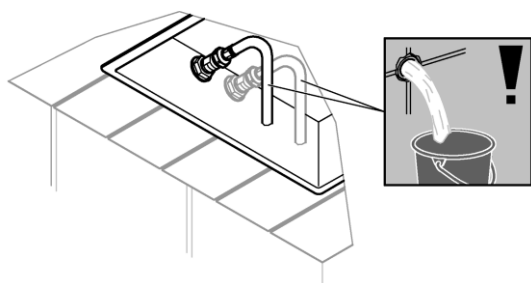
1. 本体に取付けたインサートへホースを接続します



注意

インサートを14mm幅の工具で固定した状態で、ホースの袋ナット部を19mm幅の工具で締め付けます。
※インサートが緩むと漏水の原因になります。インサートがゆるみましたらナットで再固定してください。

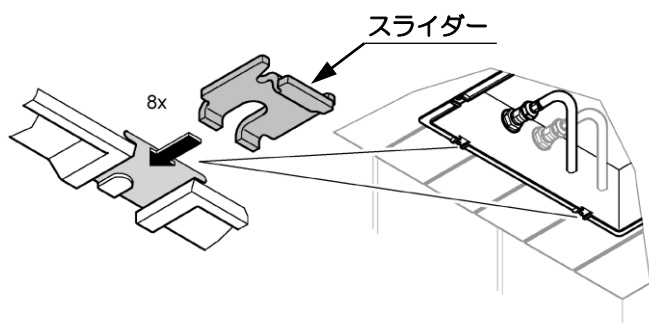
2. ホース接続後、十分に水を流し、配管内のゴミなどを取り除いてください。



注意

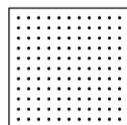
現場にてバケツ等をご用意ください。
家財等を濡らさないようご注意ください。

3. フィッティングボックスの8か所に、スライダーを取付けます。

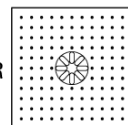


施工手順<モノ・デュオ 単品設置>

ホースとウォーターガイドの接続

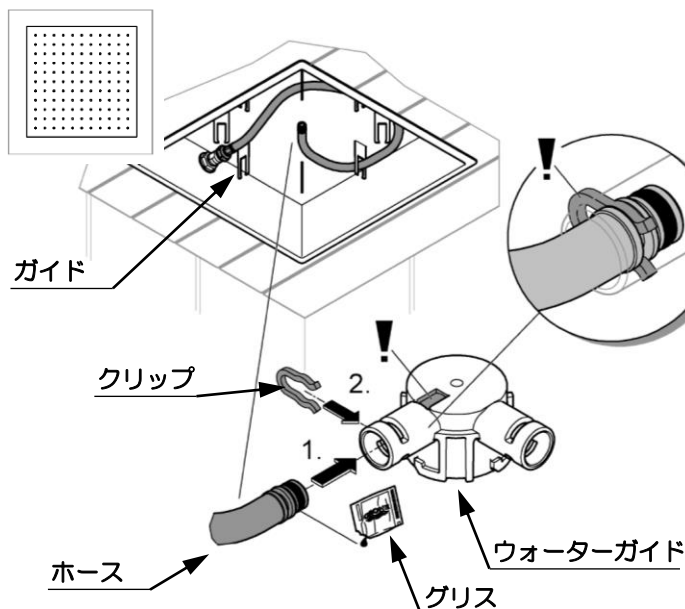


OR



接続したホース先端にウォーターガイドを取付け、フィッティングボックスのガイドにセットします。

レインシャワーアクア モノ の場合

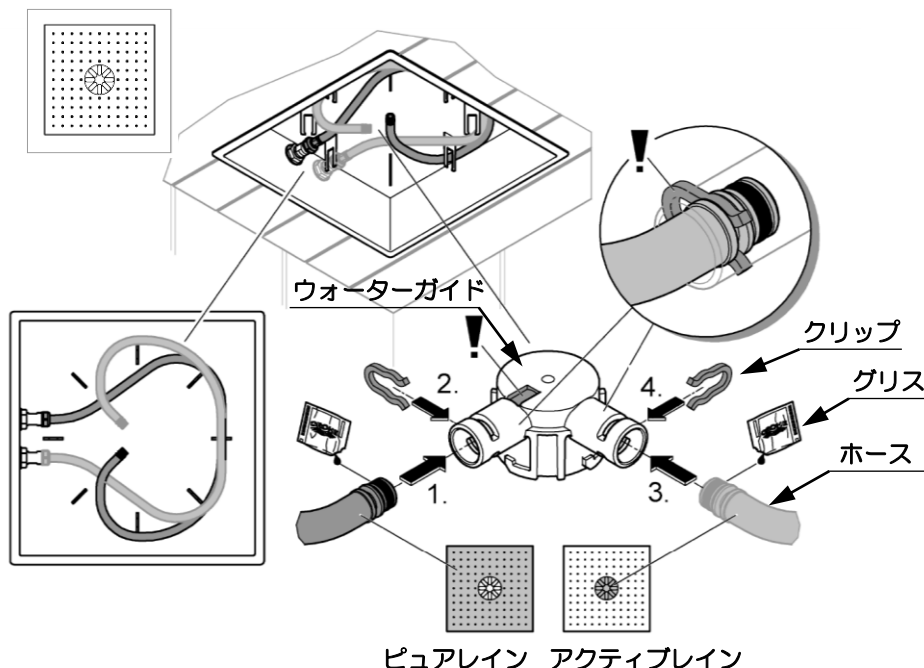


- ①ホース先端にグリスを塗布します。
- ②図のとおりホース先端をウォーターガイドに差し込みます。
- ③ウォーターガイドに付属のクリップを取付け、ホース先端が抜けないことを確認します。
- ④ホースをフィッティングボックスのガイドにセットし、ホースが落下しないことを確認します。

注意

- ・ピュアレインへの接続はウォーターガイドの凹みがある方に接続してください。また、ウォーターガイドの片側の穴が貫通していないことを確認してください。
 - ・ホース先端がウォーターガイドから抜けないことを必ず確認してください。
- ※漏水の原因になります。

レインシャワーアクア デュオ の場合

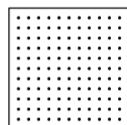


- ①ホース先端にグリスを塗布します。
- ②図のとおりホース先端をウォーターガイドに差し込みます。
※ピュアレイン/アクティブレインに接続するホースに間違いが無いかよく確認すること。
- ③ウォーターガイドに付属のクリップを取付け、ホース先端が抜けないことを確認します。
- ④ホースをフィッティングボックスのガイドにセットし、ホースが落下しないことを確認します。

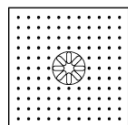
注意

- ・ホース先端がウォーターガイドから抜けないことを必ず確認してください。
- ※漏水の原因になります。
- ・ピュアレイン/アクティブレインに接続するホースに間違いが無いかよく確認すること。ウォーターガイド接続口の凹みがある方がピュアレイン接続になります。
- ※ホース接続と配管・水栓の接続を誤ると製品が正しく動作できなくなります

施工手順<モノ・デュオ 単品設置>

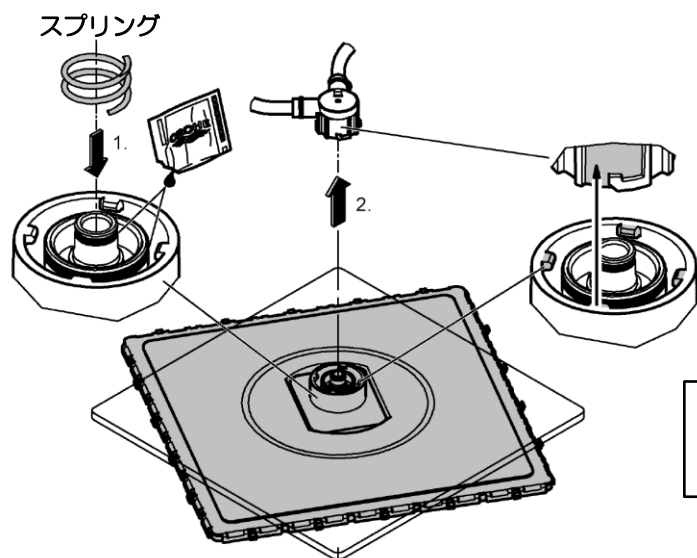


OR



ウォーターガイドと散水ユニットの接続

1. 散水ユニットの接続部にスプリングをセットし、ウォーターガイドへ差し込みます。



①散水ユニットの接続部Oリングにグリスを塗布します

②散水ユニットの接続部に付属のスプリングをセットします。

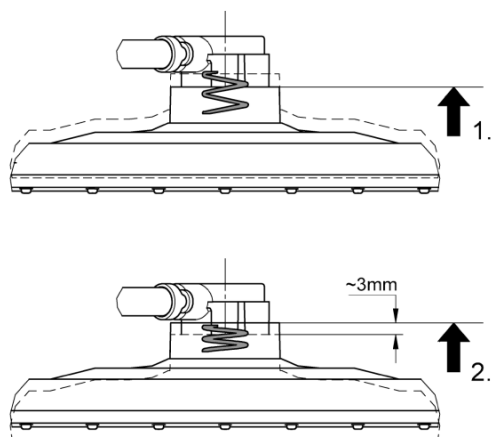
③ウォーターガイドに散水ユニットを差し込みます。

ポイント

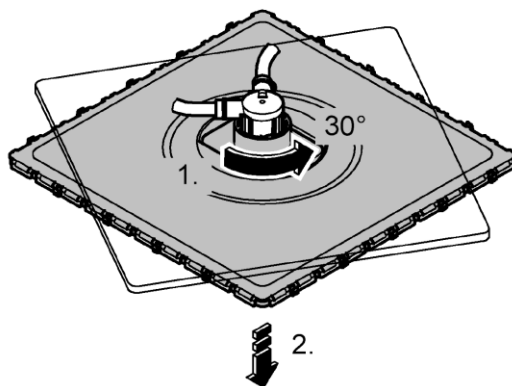
ウォーターガイドの切り欠きに散水ユニットの凸部を合わせて差し込みます。

2. 散水ユニットをウォーターガイドに押し込んだ状態で、30度右へ回転させます。

①散水ユニットをウォーターガイドに押し込む。
※接続部内部ではねが縮み、3mm押し込まれます。



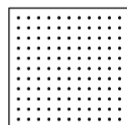
②散水ユニットを押し込んだ状態で、散水ユニットを右に30度回転させる。



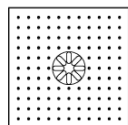
注意

散水ユニットが確実に固定されたことを確認します。

施工手順<モノ・デュオ 単品設置>

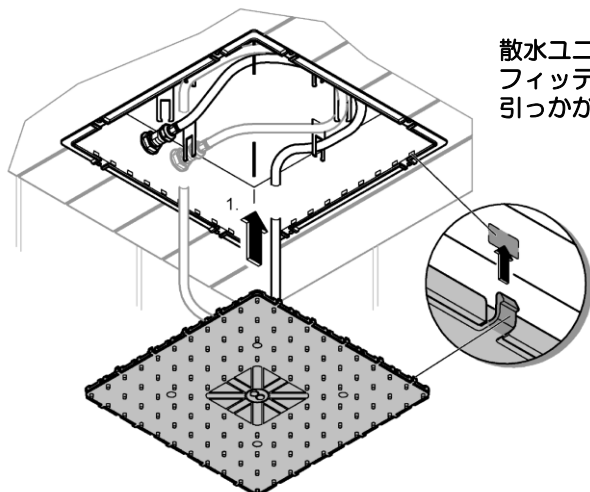


OR



散水ユニットの固定

1. 散水ユニットをの水平を保ちながら、フィッティングボックスに取り付けます。



散水ユニット外周に設けられたツメが、フィッティングボックス内部の切り欠きに引っかかっていること。

ポイント

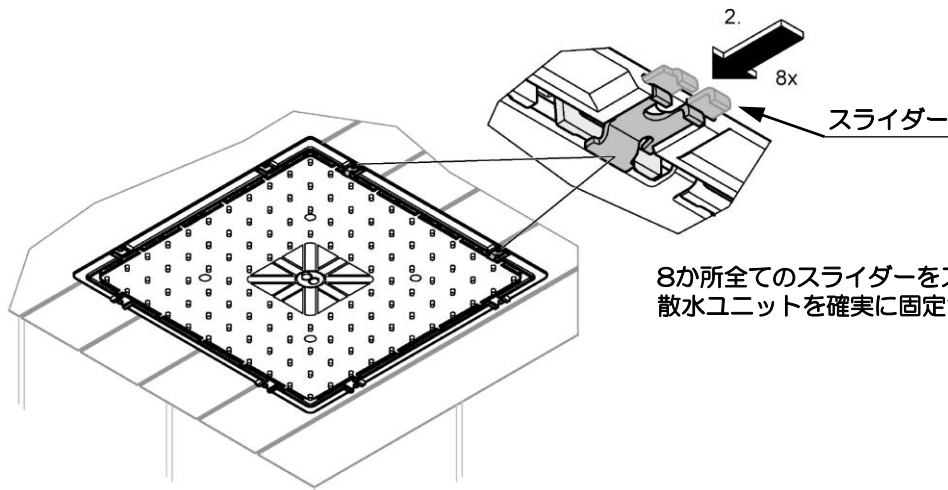
散水ユニット外周に設けられたツメと、フィッティングボックス内部の切り欠きが引っかかることで、散水ユニットが仮固定されます。

注意

- ・ホース同士が過度に接触しないよう、注意してください。
- ・ホースがねじれないよう注意してください。
- ・ホースを曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。

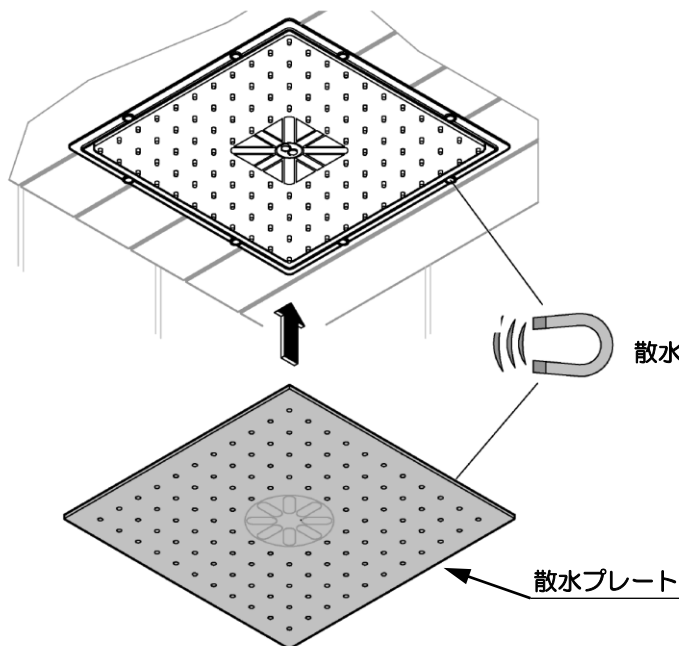
※漏水の原因となります。

2. フィッティングボックスのスライダーを散水板側へスライドさせ、散水板ユニットを固定します。



8か所全てのスライダーをスライドさせ、散水ユニットを確実に固定させます。

3. 散水プレートを取付けます。



散水プレートにはマグネットが内蔵されてます

散水プレート

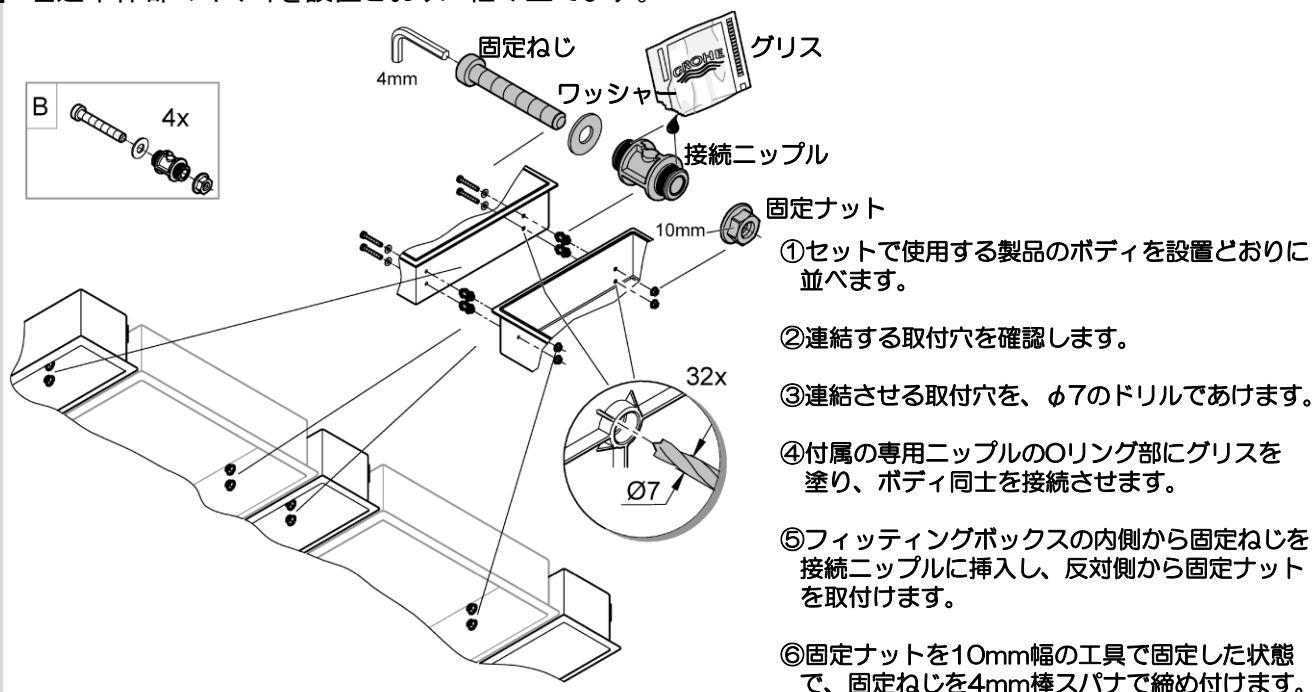
施工手順＜埋込本体部(小)の設置＞

本体の準備（セットで組合わせて使用する製品の連結）

2つ以上で組合わせて使用する場合、事前に埋込本体部同士を連結します。

例：モノ・デュオ と カスケード・3スプレー をセットで使用する場合の連結方法

1. 埋込本体部のボディを設置どおりに組み立てます。

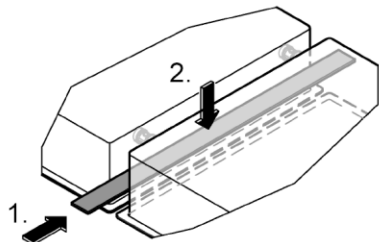


注意

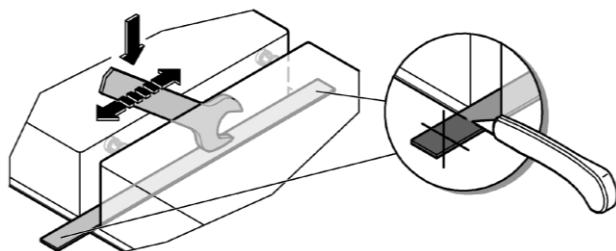
フィッティングボックスは樹脂製です。穴あけの際は破損に十分ご注意ください。
・取付けには必ず工具を使用してください。
・締め過ぎにご注意ください。

2. 組立てた埋込本体部のボディの隙間に専用の粘着シートで固定します。

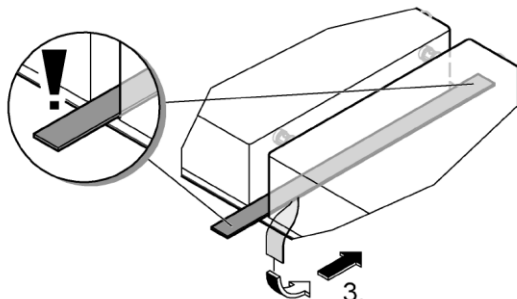
①組立てたボディの裏側から、粘着シートをセットします。



③スパナ等の工具で接着面をしっかりと押さえて密着させ、余剰分の粘着シートをカットします。

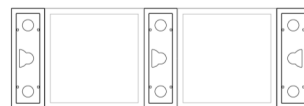


②余剰分を残したまま、剥離シートをはがします。

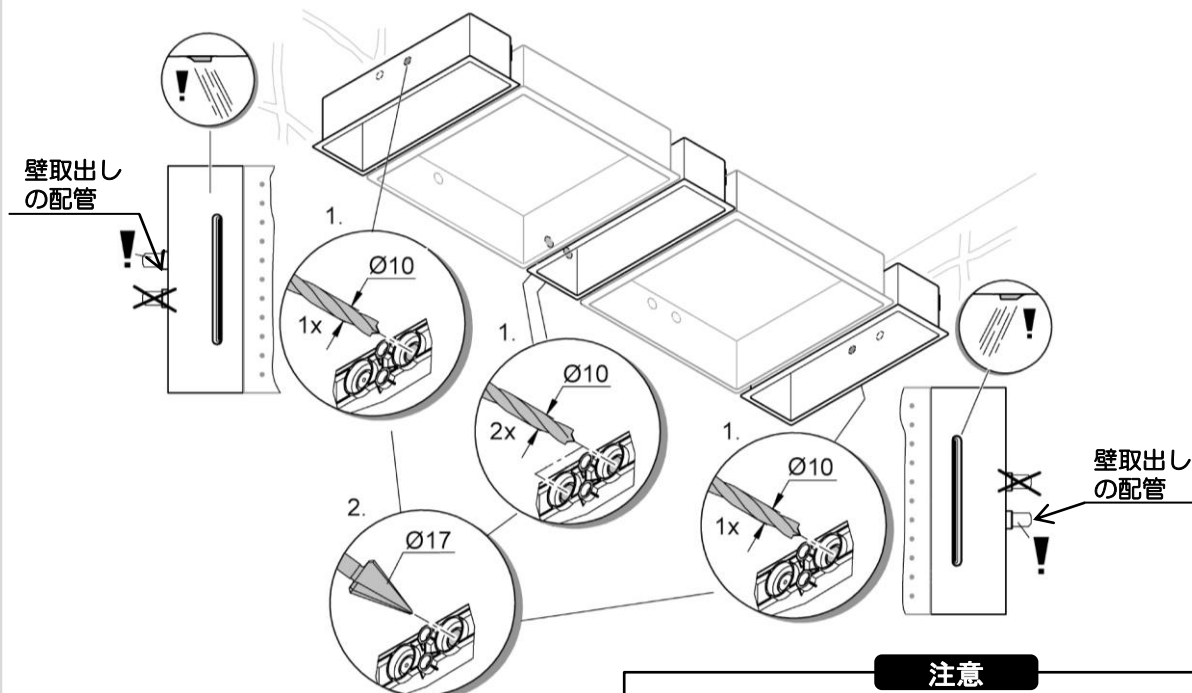


施工手順＜埋込本体部(小)の設置＞

配管取出し口の準備



1. フィッティングボックスに配管接続用の穴をあけます。

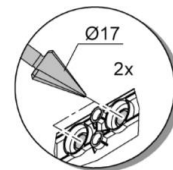
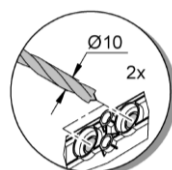


注意

フィッティングボックスへの配管取出し口の穴あけ方法

- ①φ10のドリルで
下穴をあける

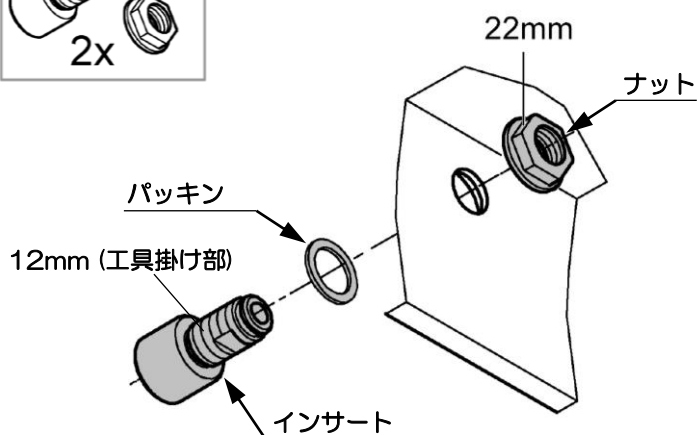
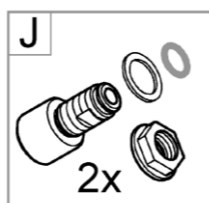
- ②リーマー等で17mm径
になるように仕上げる



注意

水栓との接続配管位置にご注意ください。
誤った位置に穴をあけると、製品が正しく動
作できなくなります。

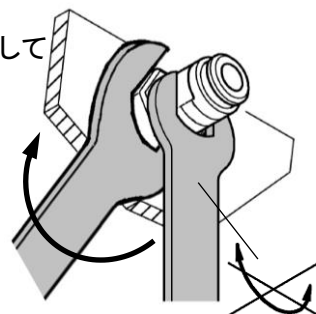
2. 穴をあけた箇所に、インサートを差込み、ナットで固定します。



注意

12mm幅のスパナでインサートの工具掛け部を
押さえて固定しながら、ナット側を回して確実
に取り付けてください。
※インサートが緩むと漏水の原因になります。

ナット側を回して
取り付ける



施工手順＜埋込本体部(小)の設置＞

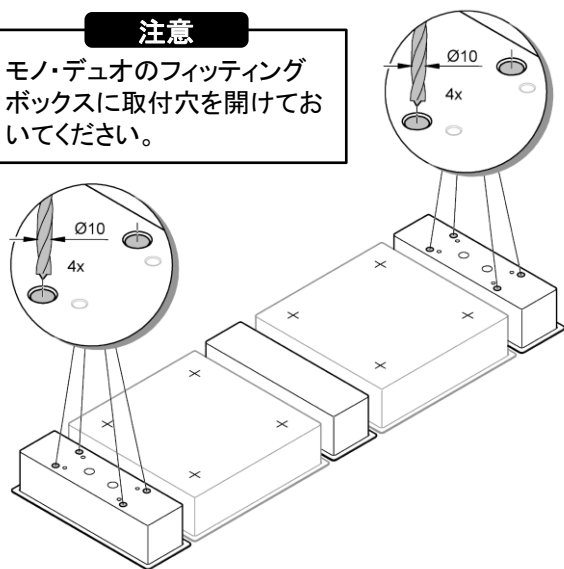
天井への取付準備



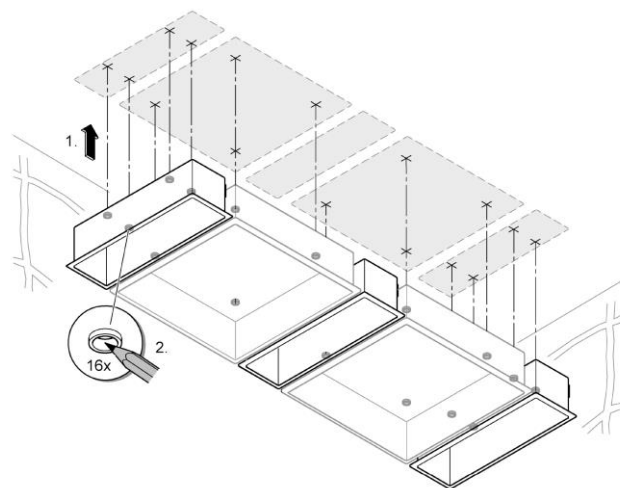
1. フィッティングボックスの取付け位置に、 $\phi 10$ の穴をドリルであけます。

注意

モノ・デュオのフィッティングボックスに取付穴を開けておいてください。

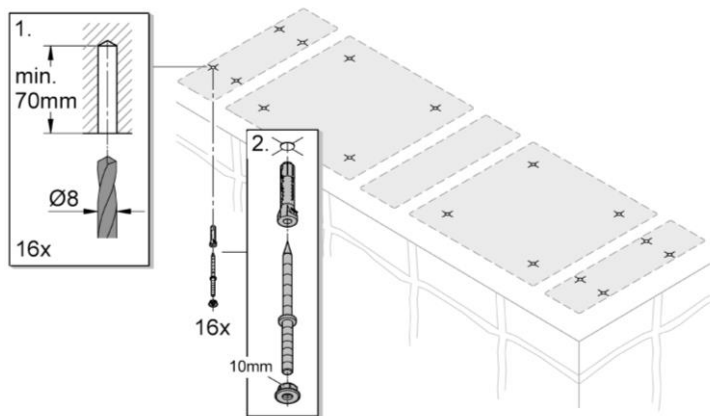


2. フィッティングボックスを設置位置に押し当て、取付け穴の位置ケガきます。



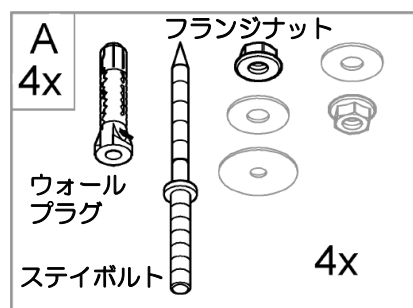
天井への設置(1)

1. 天井の取付け位置に下穴をあけ、ウォールプラグを下穴に打ち、ステイボルトをねじ込んでフランジナットで固定します。

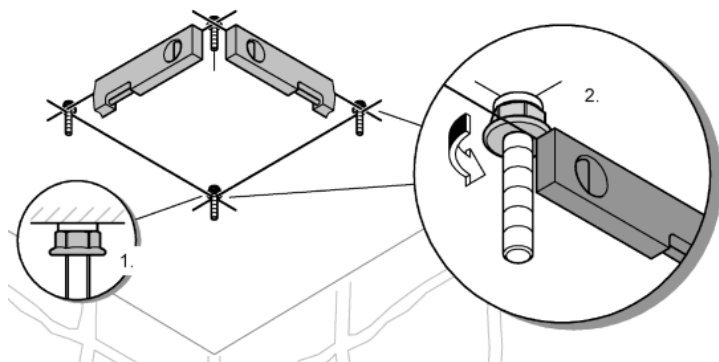


① $\phi 8$ のドリルで70mm以上の深さの下穴をあけます。

② 全ての下穴にそれぞれ、ウォールプラグ・ステイボルト・フランジナットを順番に取付けます。



2. 取付けナットが水平になるよう、調整します。

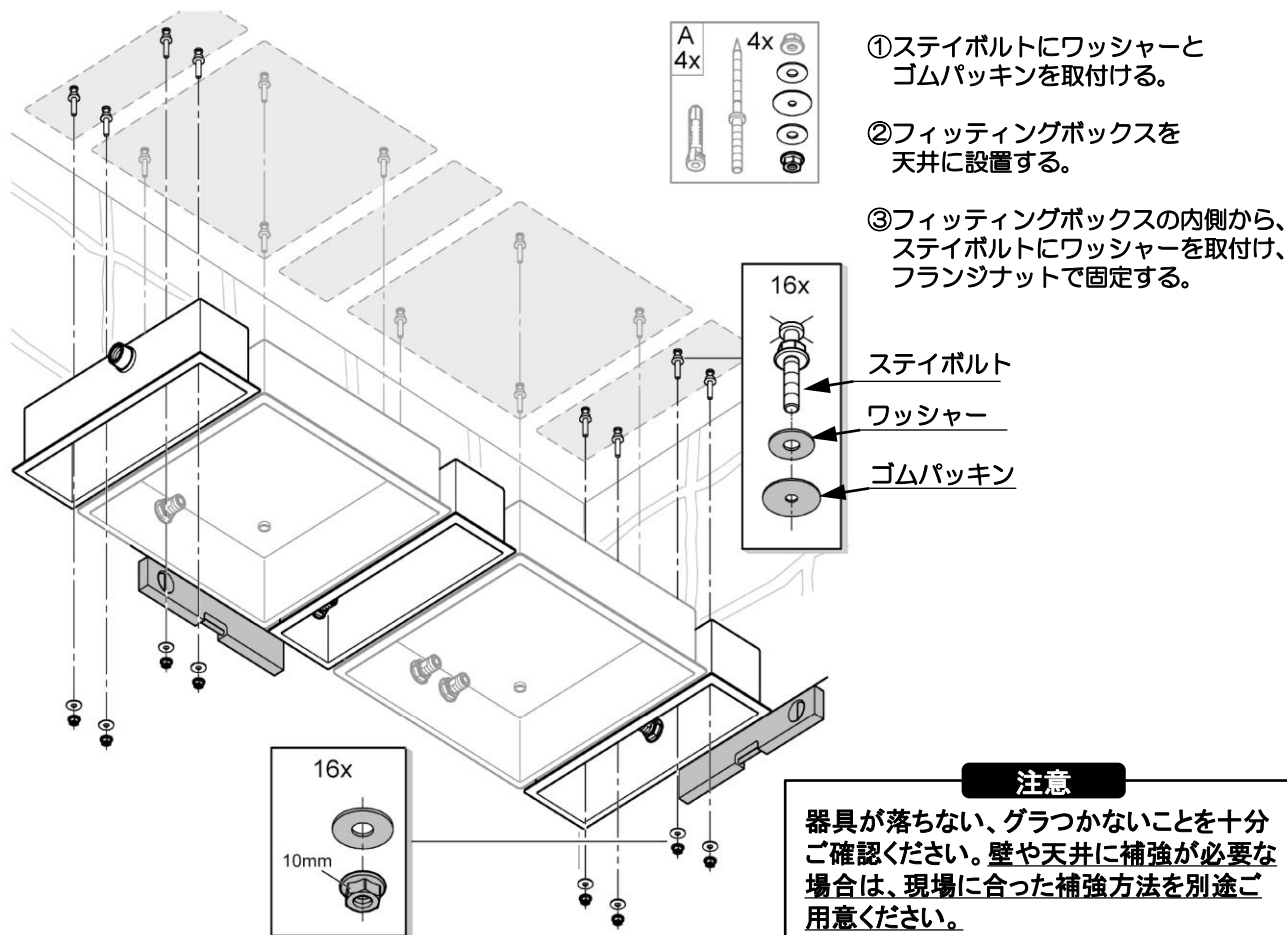


施工手順＜埋込本体部(小)の設置＞

天井への設置(2)



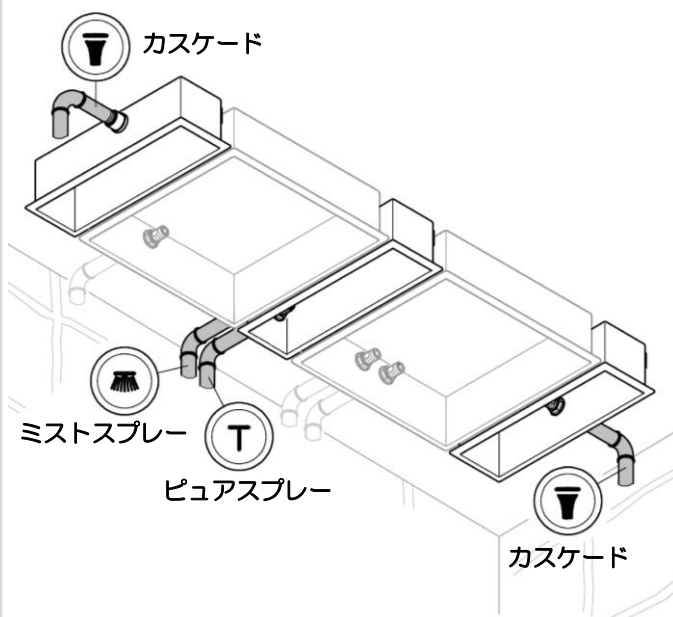
3. フィッティングボックスの水平を保つよう注意しながら、天井へ取付けます。



施工手順＜埋込本体部(小)の設置＞

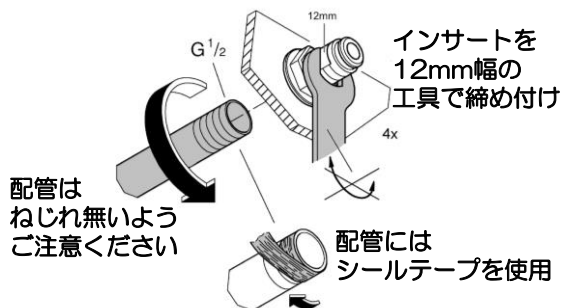
配管接続

1. 配管取出し口に、配管を接続します。



注意

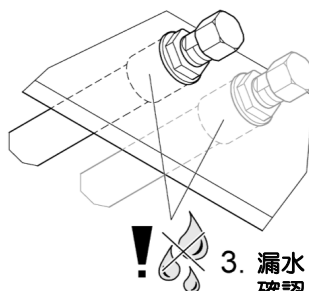
- ・配管取出し口のねじ部にはシールテープを使用してください。
- ※シールテープを使用しないと漏水の原因になります。
- ・配管接続時には、インサートを12mm幅の工具でしっかりと締め付けてください。インサートがゆるみましたらナットで再固定してください。
- ※インサートのゆるみは漏水の原因になります。



2. 通水し、接続部の水漏れが無いかどうか確認します。漏水が無ければプラグ栓を取付けます。

注意

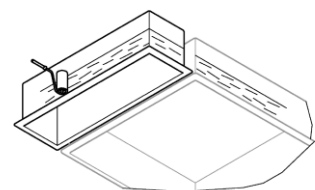
万が一漏水が確認された場合はシールテープを巻きなおし、再度締め付を行ってください。



3. 漏水していないことを確認します

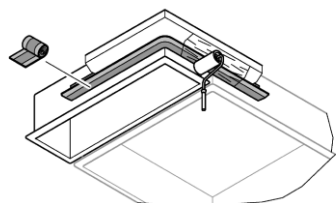
コーキング

本体埋込部にコーキング等の防水処理をします。

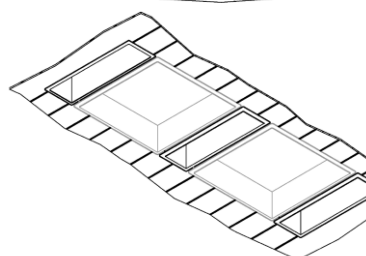


注意

防水テープや防水シール材など、現場で必要な防水処理を選定してください。

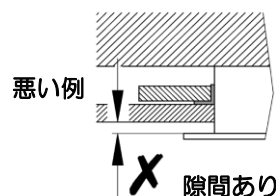
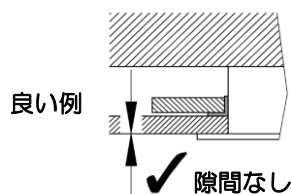


防水処理を施したあと、天井の仕上げを行ってください。

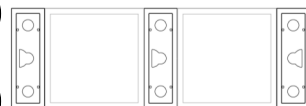


注意

天井の仕上げ面とフィッティングボックスの間に隙間が無いように施工してください

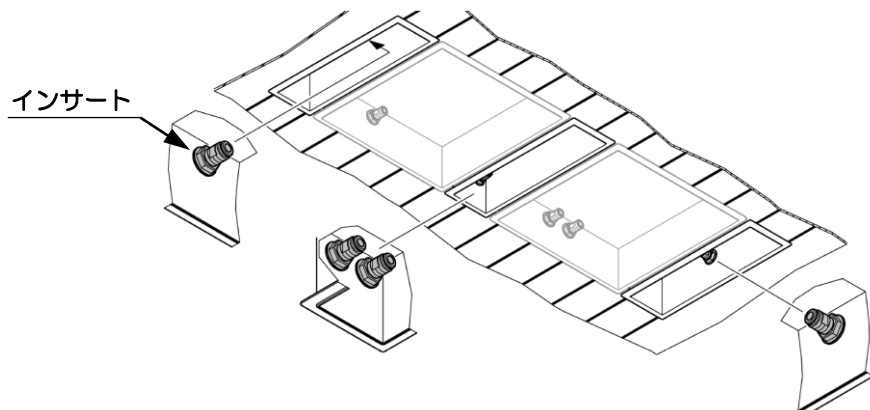


施工手順＜埋込本体部(小)の設置＞

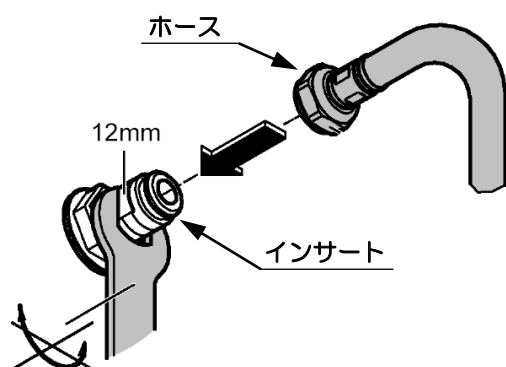


本体とホース接続

1. フィッティングボックス内のインサートが正しい位置に取付けられているか確認します。



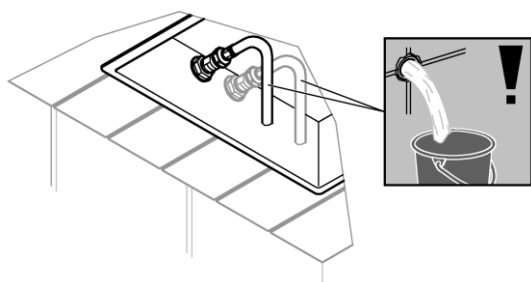
2. インサートへホースを接続します



注意

インサートを12mm幅の工具で固定した状態で、ホースの袋ナット部を工具で締め付けます。

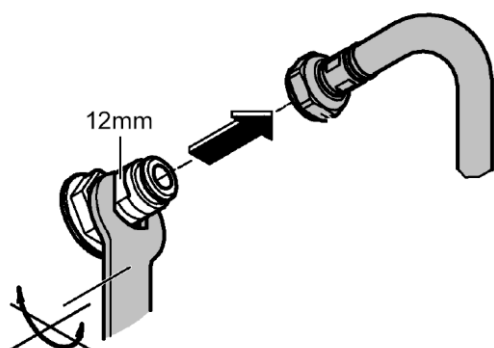
3. ホース接続後、十分に水を流し、配管内のゴミなどを取り除いてください。



注意

現場にてバケツ等をご用意ください。
家財等を濡らさないようご注意ください。

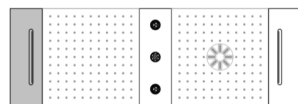
4. 配管内のフラッシングが完了後、ホースを取外します。



注意

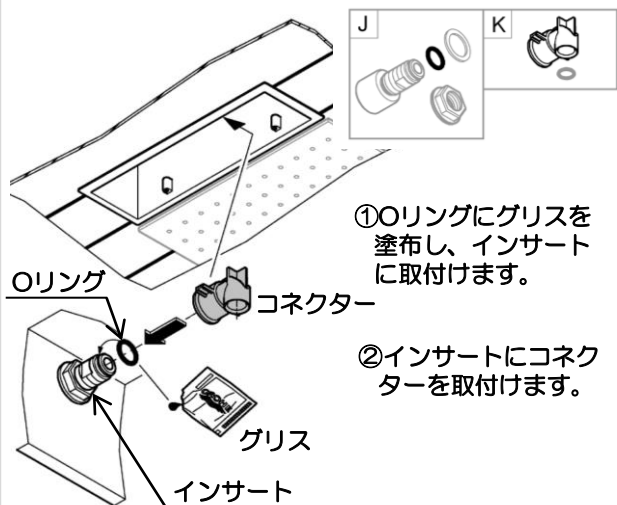
インサートを12mm幅の工具で固定した状態で、ホースの袋ナット部を工具でゆるめて取外します。
インサートがゆるみましたらナットで再固定してください。
※インサートのゆるみは漏水の原因になります。

施工手順＜カスケード① 左設置＞

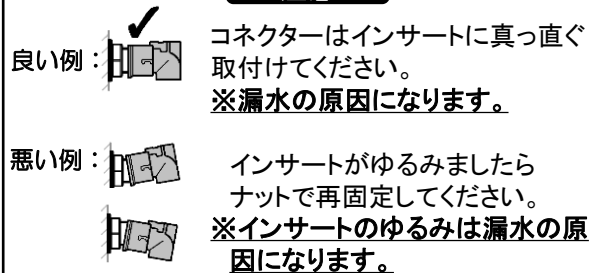


フィッティングボックスへのウォーターガイドの取付け

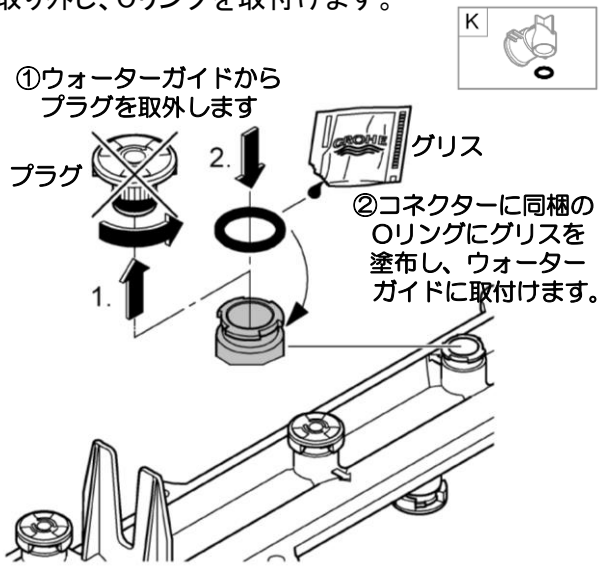
1. インサートにコネクタを取付けます。



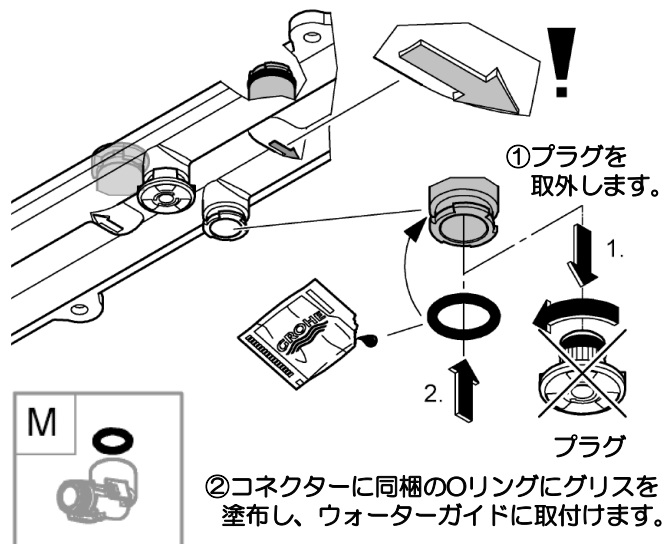
注意



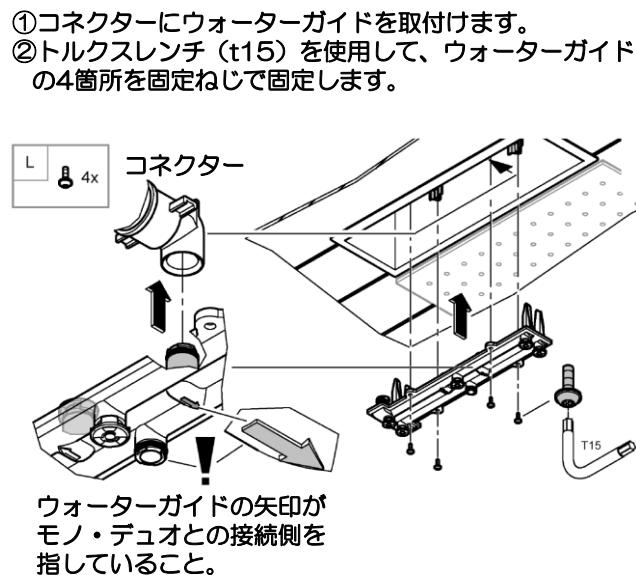
2. ウォーターガイドの給水側接続部のプラグを取り外し、Oリングを取付けます。



3. ウォーターガイドの吐水側接続部のプラグを取り外し、Oリングを取付けます。

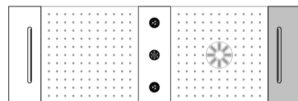


4. フィッティングボックスへウォーターガイド取付けます。



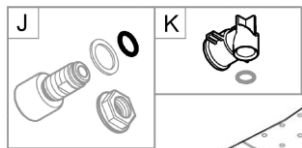
#

施工手順＜カスケード② 右設置＞



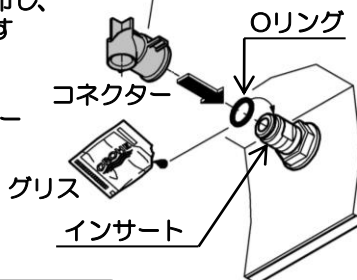
フィッティングボックスへのウォーターガイドの取付け

1. インサートにコネクターを取付けます。



①Oリングにグリスを塗布し、インサートに取付けます

②インサートにコネクターを取付けます。

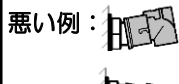


注意



良い例：

コネクターはインサートに真っ直ぐ取付けてください。
※漏水の原因になります。

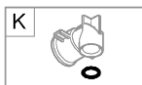


悪い例：

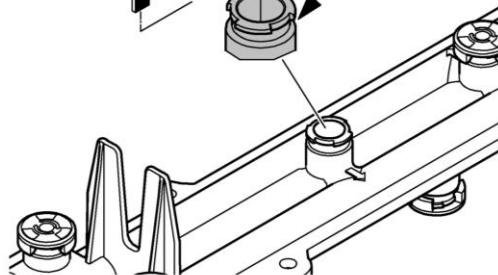
インサートがゆるみましたらナットで再固定してください。
※インサートのゆるみは漏水の原因になります。

2. ウォーターガイドの給水側接続部のプラグを取り外し、Oリングを取付けます。

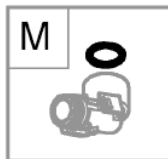
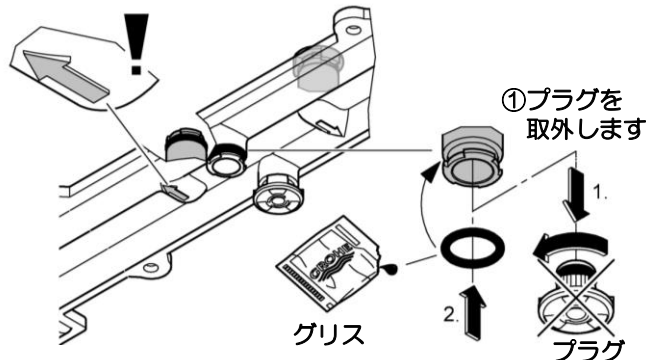
①ウォーターガイドからプラグを取り外します



②コネクターに同梱のOリングにグリスを塗布し、ウォーターガイドに取付けます。



3. ウォーターガイドの吐水側接続部のプラグを取り外し、Oリングを取付けます。

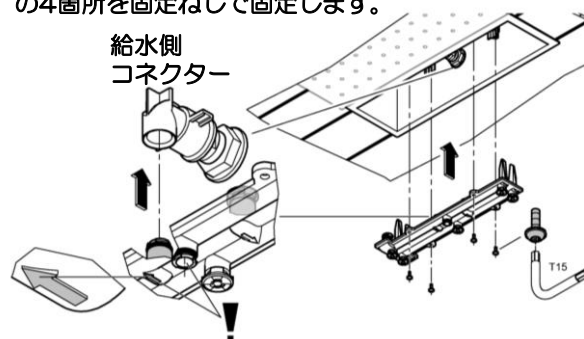


②コネクターに同梱のOリングにグリスを塗布し、ウォーターガイドに取付けます。

4. フィッティングボックスへウォーターガイド取付けます。

①給水側コネクターにウォーターガイドを取付けます。

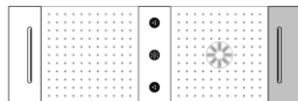
②トルクスレンチ (t15) を使用して、ウォーターガイドの4箇所を固定ねじで固定します。



ウォーターガイドの矢印がモノ・デュオとの接続側を指していること。



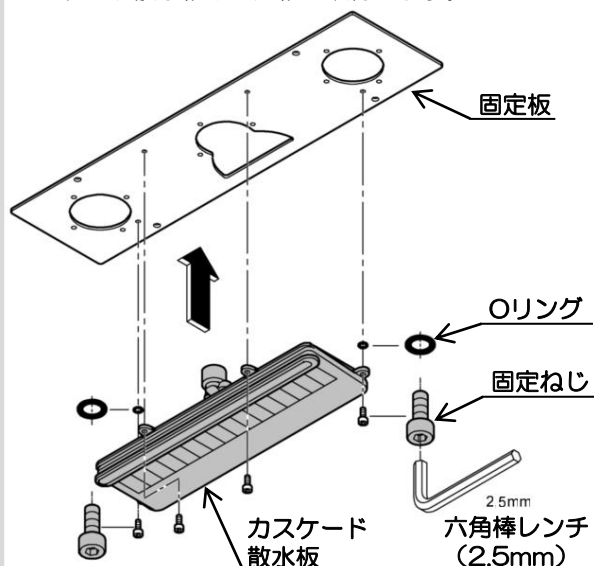
施工手順＜カスケード② 右設置＞



カスケード散水板の取付け

1. 固定板にカスケード散水板を取付けます。

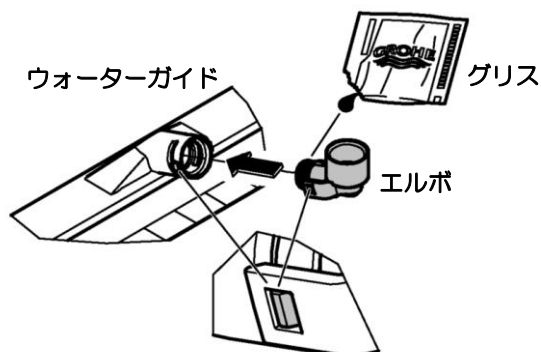
固定板とカスケード散水板の間にOリングを取付け、カスケード散水板を固定板に取り付けます。



注意

固定には2.5mmの六角レンチを使用します。

2. エルボ接続部のOリングにグリスを塗布し、ウォーターガイドに取り付けます。

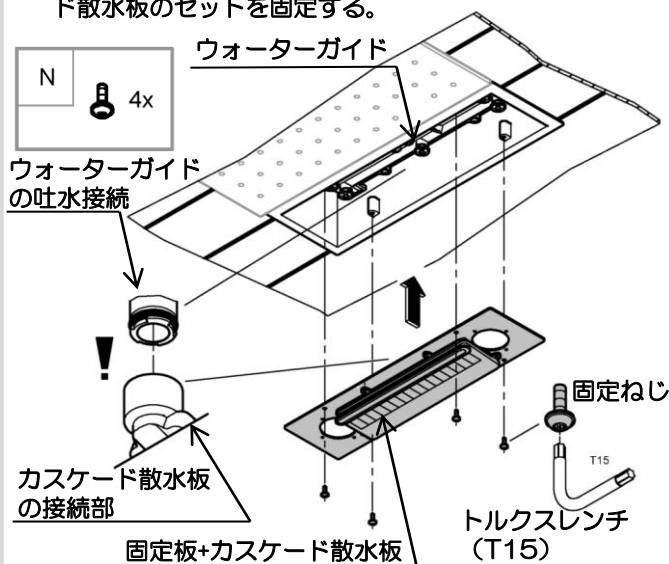


注意

エルボの凸を、ウォーターガイドの溝にしっかりはめ込みます。

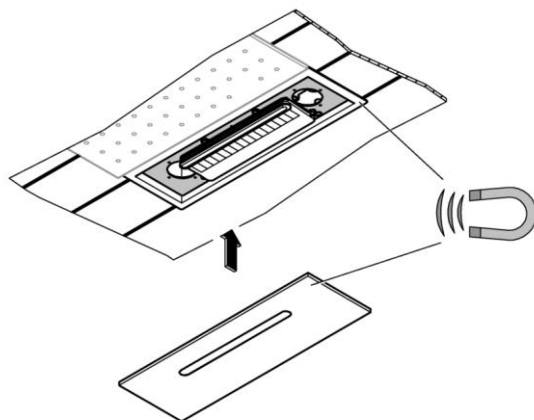
3. ウォーターガイドに、固定板+カスケード散水板を取付けます。

- ①カスケード散水板の接続部を、ウォーターガイドの吐水接続へ取付ける。
- ②トルクスレンチ (t15) を使用して、固定板+カスケード散水板のセットを固定する。



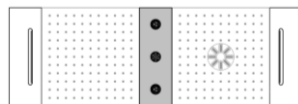
4. カスケード用の化粧プレートを取付けます。

フィッティングボックスと化粧プレートはマグネットにより密着します。



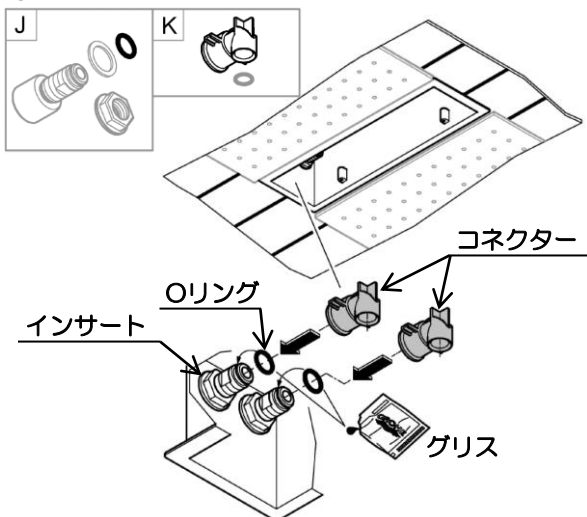
施工手順<ミスト/ピュアスプレー>

フィッティングボックスへのウォーターガイドの取付け



1. インサートにコネクターを取付けます。

- ①Oリングにグリスを塗布し、インサートに取付けます。
- ②インサートにコネクターを取付けます。

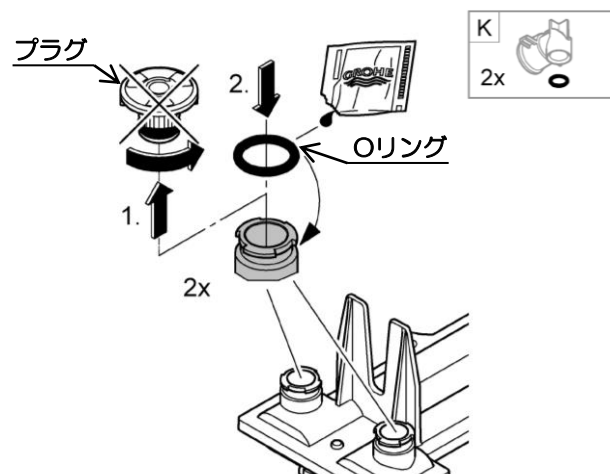


注意

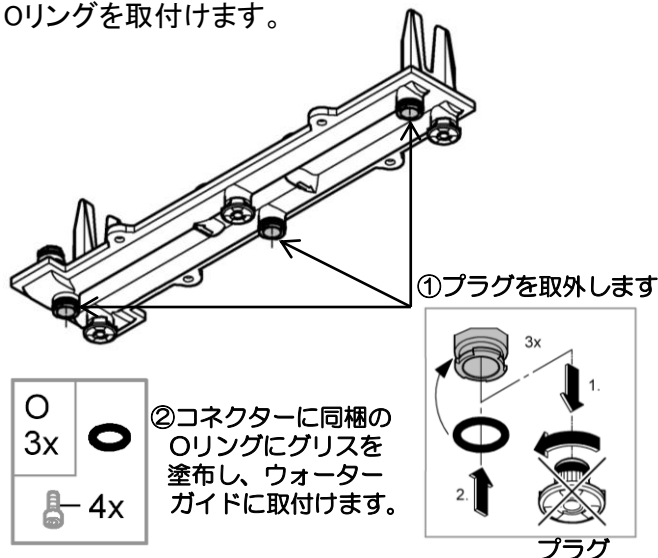
- 良い例：** コネクターはインサートに真っ直ぐ取付けてください。
※漏水の原因になります。
- 悪い例：** インサートがゆるみしたらナットで再固定してください。
※インサートのゆるみは漏水の原因になります。

2. ウォーターガイドの給水側接続部のプラグを取り外し、Oリングを取付けます。

- ①ウォーターガイドからプラグを取り外します。
- ②コネクターに同梱のOリングにグリスを塗布し、ウォーターガイドに取付けます。

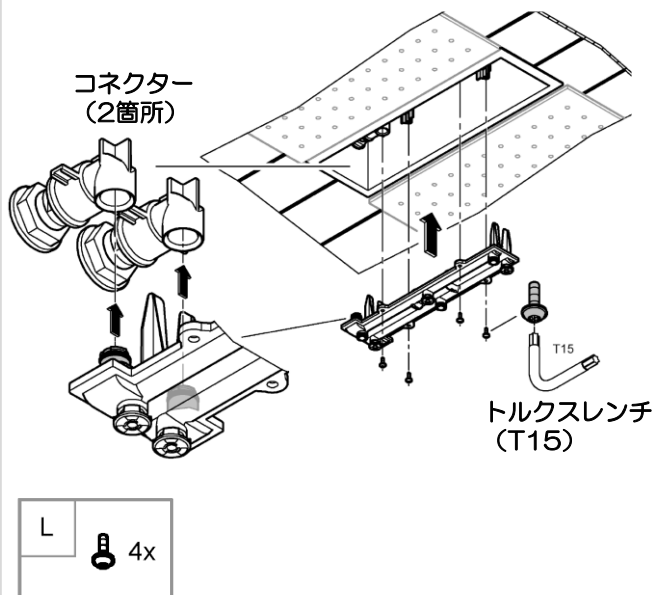


3. ウォーターガイドの吐水側接続部のプラグを取り外し、Oリングを取付けます。

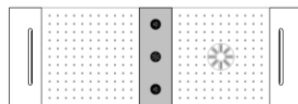


4. フィッティングボックスへウォーターガイド取付けます。

- ①コネクターにウォーターガイドを取付けます
- ②ウォーターガイドの4箇所を、トルクスレンチ (T15) を使用して固定ねじで固定します。

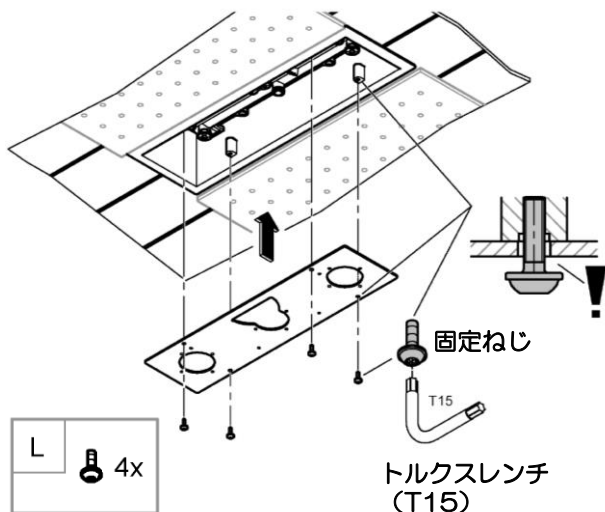


施工手順<ミスト/ピュアスプレー>



固定板と吐水ユニットの取付け

1. フィッティングボックスに、トルクスレンチ(T15)を使用し、固定板を固定ねじ4本で仮付けます。

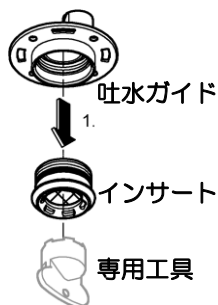


注意

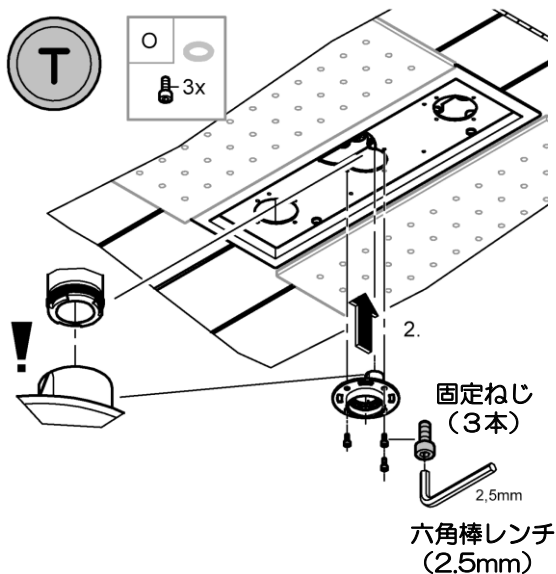
最後まで締め付けずに仮止めます。

2. 【ピュアスプレー吐水ユニットの取付け】

- ① 付属の専用工具を使用してピュアスプレーの吐水ガイドから、インサートを取外します。

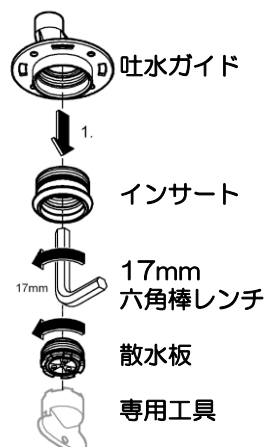


- ② ①で取外した吐水ガイドを、ウォーターガイドの接続部に取付けます。

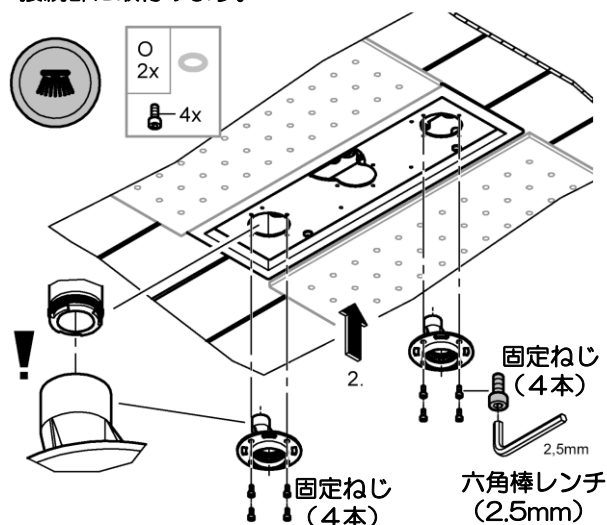


3. 【ミスト吐水ユニットの取付け】

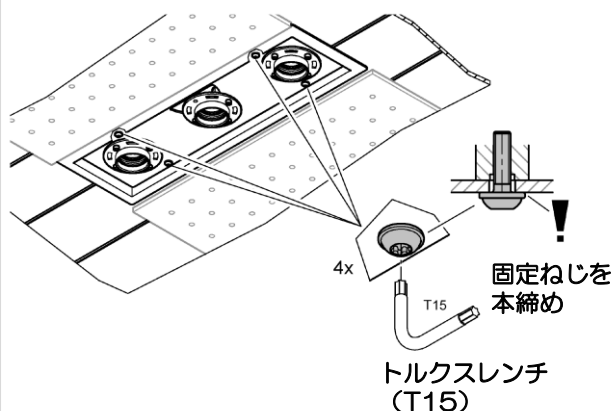
- ① ミスト吐水ユニットのガイドから、インサートと散水板を取外します。



- ② ①で取外した吐水ガイドを、ウォーターガイドの接続部に取付けます。



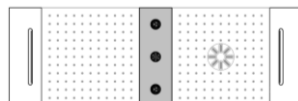
4. 固定ねじをトルクスレンチ(T15)を使用してしっかり締め付けします。



注意

最後まで確実に固定します。

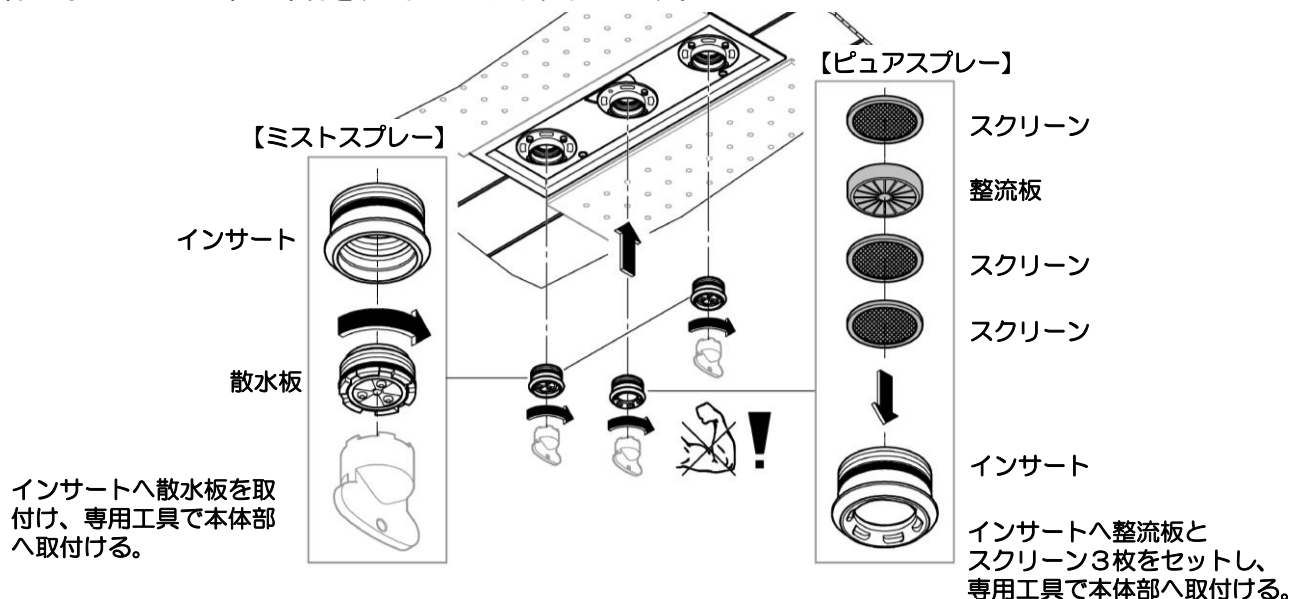
施工手順<ミスト/ピュアスプレー>



吐水ユニット用部材の組付けとフラッシング

1.【吐水ユニットの部材を仮付け】

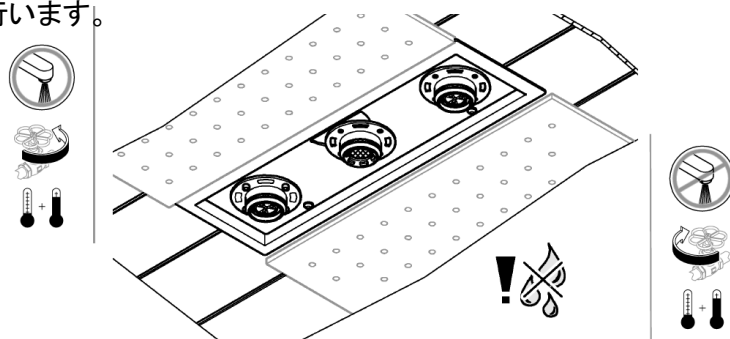
各吐水ユニット内部の部材を、下図のとおり組付けます。



2.【フラッシング】

部材を仮付けした状態でフラッシングを行います。

通水と止水を何度か繰り返したあと、漏水箇所が無いか確認します。



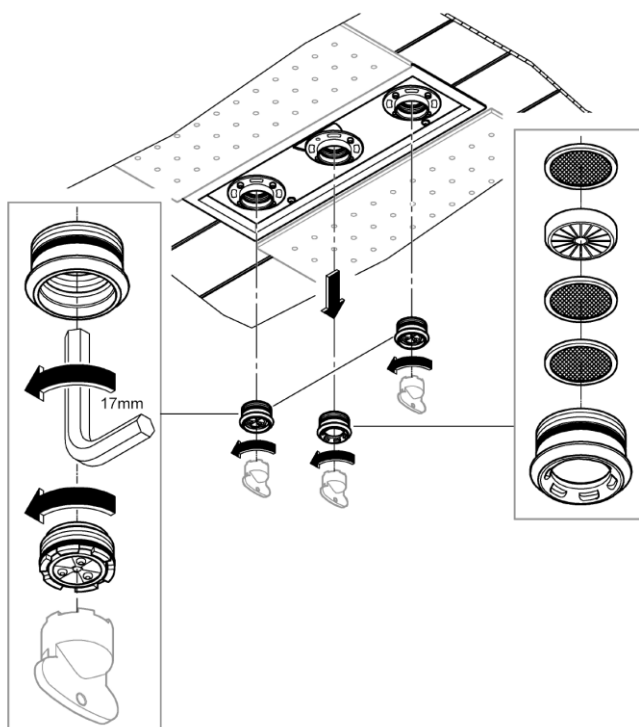
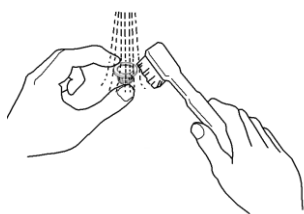
3.【部材の清掃】

仮付けしている部材を取り外して清掃します。

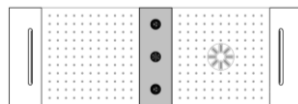
※配管から流れてきたゴミなどが付着している場合があります。

注意

取外した部材を一度水洗いし、付着したゴミなどを洗い流します。

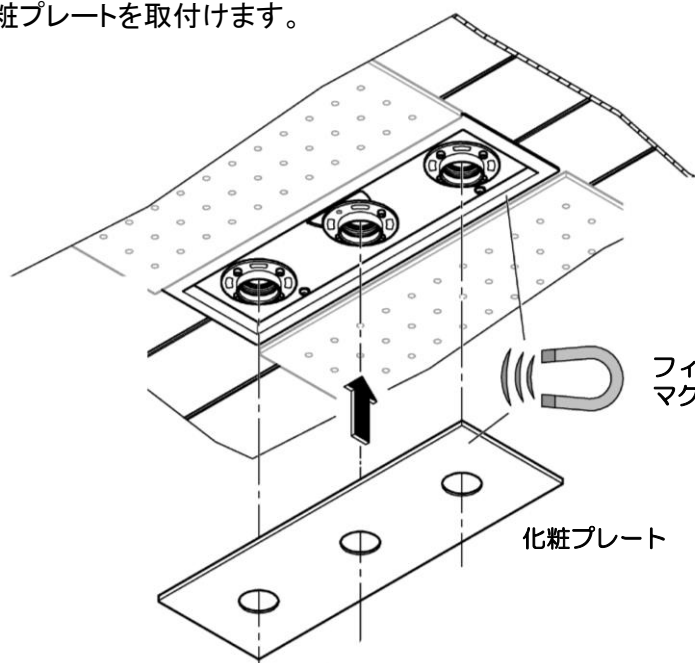


施工手順<ミスト/ピュアスプレー>



化粧プレートと吐水ユニット用部材の再組付け

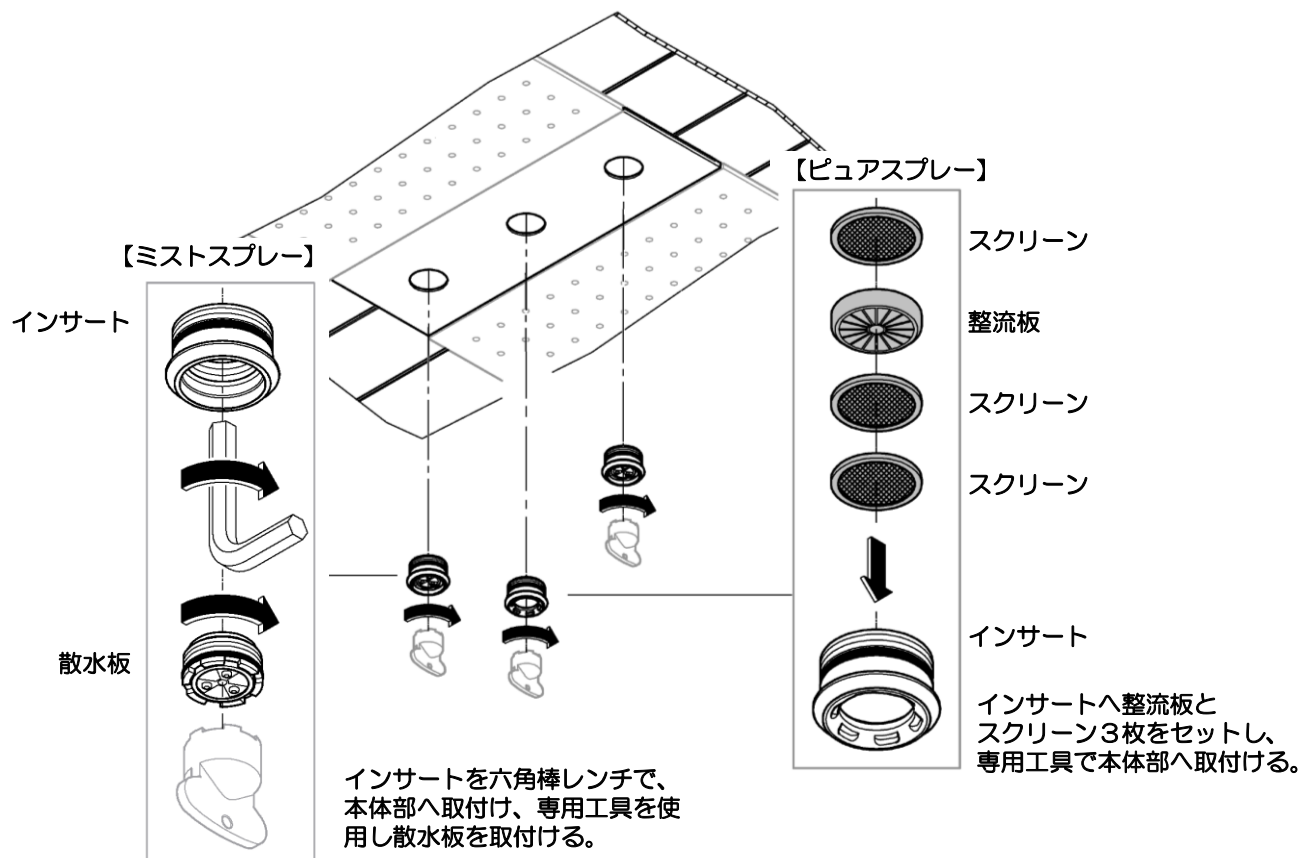
1. 化粧プレートを取付けます。



フィッティングボックスと化粧プレートは
マグネットにより密着します。

化粧プレート

2. 各吐水ユニット内部の部材を、下図のとおり組付けます。

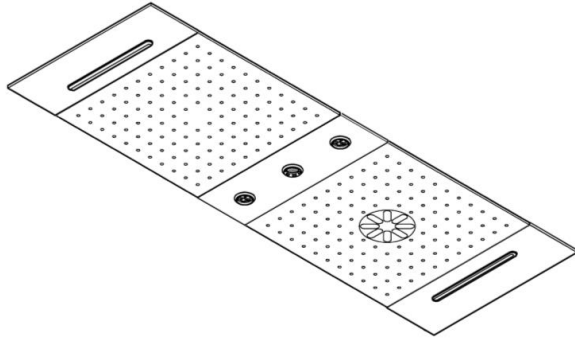


注意

三か所を、それぞれ均等な荷重で固定してください。
化粧プレートは樹脂製ですので、割れや破損に注意してください。
ねじ込みが固い場合は、インサートのOリングにグリスを使用してください。

ご使用方法

組み合わせてお使いの水栓で吐出温度の調整と吐出量の調整を行ってください。

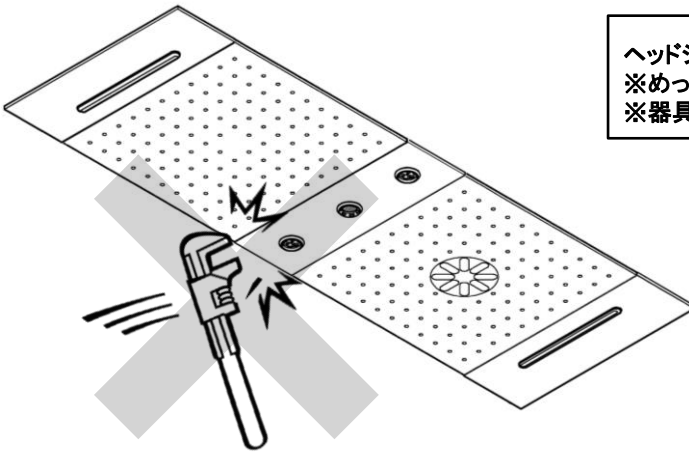


注意

ヘッドシャワーの使い始めや、水栓で吐出状態を切替えた際に吐出温度が変化することがあります。
必ず吐出温度を確認してからご使用ください。
※ヤケドをする恐れがあります。

ご使用上の注意

ヘッドシャワーに強い力や衝撃を与えないでください。落下するおそれがあります。



注意

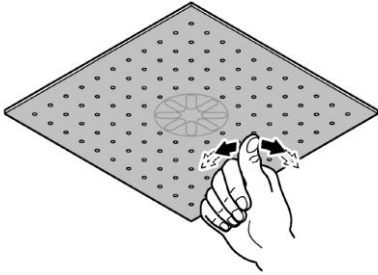
ヘッドシャワーに強い力や衝撃を与えないでください。
※めっきの表面が割れてケガをするおそれがあります。
※器具の破損や落下、漏水の原因になります。

お手入れ方法

散水穴の清掃

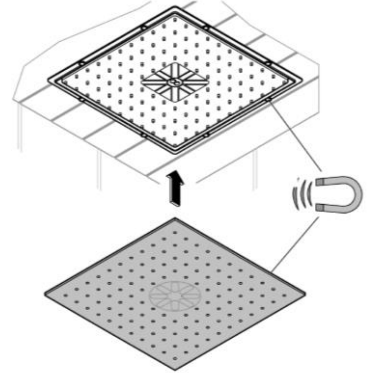
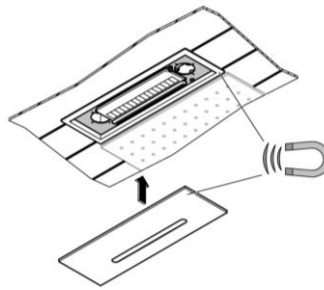
シャワー散水穴のゴミづまりは機能を低下させるだけでなく、破損の原因となります。
ときどき次の要領で清掃してください。

- 散水プレートの穴を指で軽く撫でる



注意

- ・散水穴は強くこすらないでください。
- ※散水プレートはマグネットで密着されています。強くこすりすぎると落下の危険がありますので十分ご注意ください。
- ・ヘッドシャワーのお手入れをする際は、足場等を確保してから行ってください。
- ※転落等でケガをすることがあります。



冬期凍結の恐れがある場合

凍結が予想される際は、水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。

※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

※凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。破損の状況によっては有料の本体交換になる場合もありますのでご注意ください。

注意

凍結が予想される場合は、以下の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 水栓や配管部などに保温材を巻く。

定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的に点検をおこなってください。

接続部分の水漏れ(1ヶ月に1回程度)

- ◎接続部分の水漏れがないか確認してください。
部品劣化・磨耗などによって生じる漏水で、高温使用時に湯が出てやけどをすることがあります。
(配管接続部を点検出来るように必ず点検口を設けてください。)

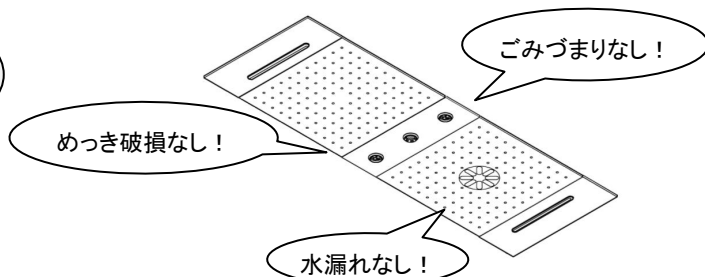
散水穴のゴミづまり(1ヶ月に1回程度)

- ◎散水穴にゴミ等の付着がないか確認してください。
シャワー散水穴のゴミづまりは機能を低下させるだけでなく、破損の原因となります。

定期的に点検してください

めっき部分の破損(1ヶ月に1回程度)

- ◎めっき部分の破損がないか確認してください。
劣化・摩耗などによって生じるめっき表面の割れで、ケガをするおそれがあります。



日常のお手入れ

本体表面のお手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことを注意してください。

- 汚れは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- 汚れがひどいときは、適度に薄めた中性洗剤を含ませた布で、拭き取ってください。
そのあと水でぬらした柔らかい布でからぶきしてください。
- メラミンフォームをご使用されるときは、あまりきつくこすりすぎるとキズがつくことがありますのでご注意ください。
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイル及び水栓を十分水洗いしてください。

注意

製品の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。

- ・クレンザー、ポリバスクリーナー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、アルカリ性洗剤
- ・研磨粒子入りスポンジ、ナイロンたわし、ブラシ等
- ・シンナー、ベンジン等の溶剤

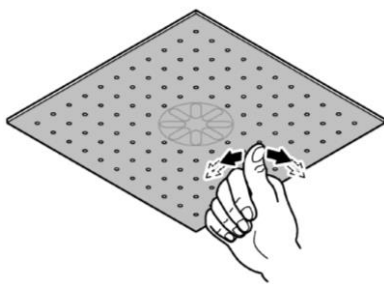
※ヒビ割れや変色の原因となります。

まちがって使用した場合は、すぐに水洗いをしてください。



故障かな?と思ったら(修理を依頼される前に)

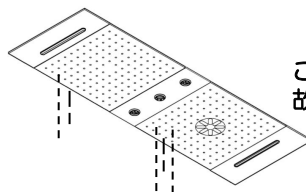
シャワーの散水状態の悪化



散水プレートを指で軽く撫でる

水栓閉栓後、シャワーから落水する

水栓閉栓直後に数十秒程度の滴下が生じる事がありますが内部構造による特性です。故障ではありません。
朝まで継続して滴下している場合は
グローエサービスセンター(0570-666-368)ご相談ください。

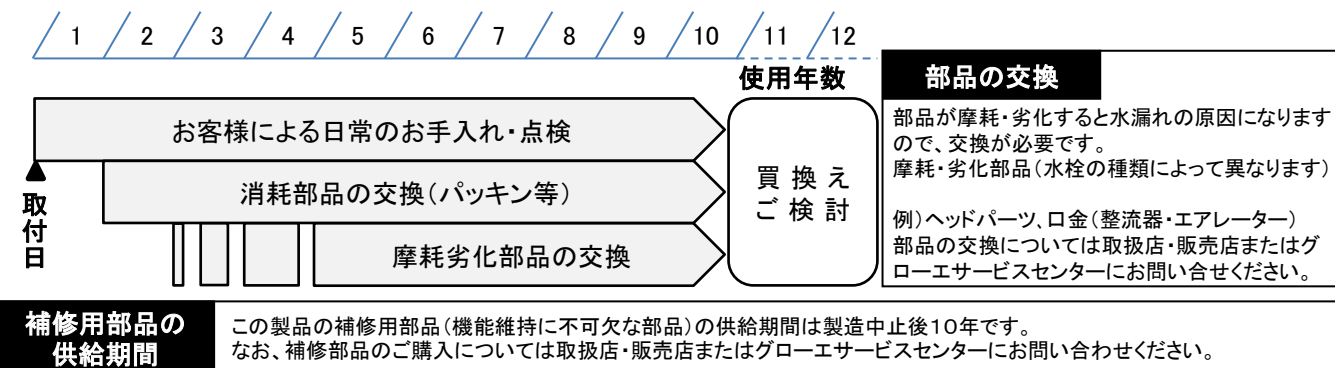


ご使用直後の落水は
故障ではありません

※上記処置で故障が直らない場合は、取扱店、またはグローエサービスセンター(0570-666-368)へご相談ください。
※上記処置以上の分解、修理、改造は行わないでください。ケガをしたり、故障、破損の恐れがあります。

定期的な部品交換(部品は水栓の種類によって異なります)

◆定期的な点検・部品交換のめやす



アフターサービスについて

◆修理を依頼されるとき

お求めの取扱店、またはグローエサービスセンターに修理を依頼してください。

<保証期間中は>

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

<保証期間が過ぎているときは>

- 修理により使用可能な商品については、希望により有料にて修理させていただきます。

<修理料金は>

- “技術料”+“出張料”+“部品代”で構成されています。

<連絡していただきたい内容>

- | | | |
|-----------------|---------------|--------------------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 | 3. 品番(保証書または取扱説明書) |
| 4. ご購入日 | 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 希望訪問日、在宅可能日時 |

◆修理の依頼・お問い合わせは

グローエサービスセンター
0570-666-368

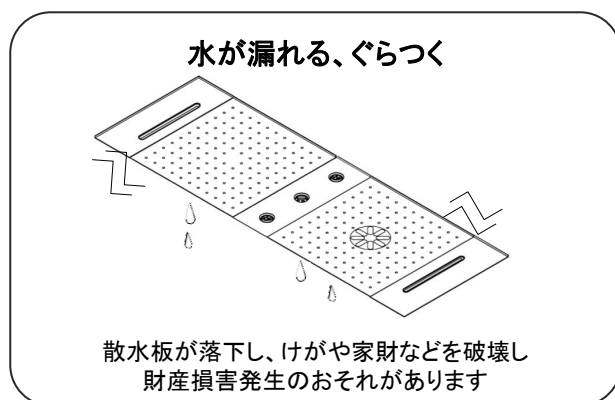
受付時間 平日9:30~17:30(受付・お問い合わせ)
平日夜間・土・日・祝日24時間(漏水等緊急時のご相談のみ)

新しく購入して交換してください

本品は、磨耗・劣化する製品です。使用10~12年を目安に新しい製品に交換してください。

※下記のような症状があれば、劣化による内部部材の磨耗が考えられます。

※取扱店または販売店へお買い替えのご相談をしてください。



グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス <https://www.grohe.co.jp/>